

明治維新後の私なりの教訓

① 明治維新(1868年)から約150年での教訓

- 1) 4大陸プレートの上に日本列島があり、火山列島であること
- 2) 日本列島は太平洋と日本海等に囲まれた孤立島国であること
- 3) 日本列島は、偏西風下にあり台風襲来が繰り返されていること
- 4) 以上より、頻繁に、豪雨・土砂災害、地震、津波等の災害に遭っており、衣・食・住を自前でまかなう必要があること
- 5) また最近の事象でよく判ったのは、関東平野は地盤が極めて悪いことである。青年期火山の富士山の近くで、古来より都が京都にあったことは、先人達の素晴らしい知恵といえる！

② 教訓を活かした国づくりとは

- 1) この教訓を活かして、『国づくり』を論じるなら、東京一極集中を速やかに止め、産業と機能を先ず活火山のない関西に分散し、100年の大計でもって、東京が潰れたら国が潰れる事態を回避させる『機能分散と新国づくり大計』が必要といえる。
- 2) そのためにも、孤立島国での食糧確保に努め、安全な水と食を確保する第一次産業への大計的な政策転換が必要と考える。
- 3) 国民の衣・食・住を安定させ、災害から守る事が孤立島国では大事であり、そこで活かされるのが山林・農地を持つ地方である。
- 4) 孤立島国の我々は、海路で他国へ逃げることは極めて困難で安定した生活を保持するには、自給自足が前提となる。

③ 基盤整備と巧みな外交術

- 1) 異常降雨に見られる環境変化は、国土保全の緊急な必要性を示しているが、公共事業を悪とした政策等が国民の生命・財産を危うくしており、防災・免災の基盤整備が緊急課題である。
- 2) 広島豪雨災害、今年の鬼怒川破堤氾濫等、異常気象による災害は加速化する恐れは大きいと予測できる。
それ故に、基盤整備への基本投資は益々必要である。

- 3) 国土保全等の基盤整備が緊急課題であるなら、ここへの資本投入を心置きなく可能とするには、近辺諸国、主要な国々とは争わず常によき関係を保持して行かねばならない。
徳川250年の長きに亘った鎖国時代に劣化した外交術戦略を再構築し、巧みな外交術を緊急に磨かなければならない。
- 4) 資源がほとんど無く、食を確実に保持できない孤立島国故に戦争に巻き込まれると勝ち目がないことを肝に銘じるべきである。
孤立島国が故に、国家国民の生命財産を守る難しさを自覚し防災・免災へ取り組む重要性を国民に知らせる必要がある。

④ 技術者の使命

- 1) 技術者・技術士の使命として、現実を真摯に正直に示して、国家国民の生命財産を守る使命を邁進してほしい！
- 2) 自然との共生をし、土木技術を我々に伝えてきた先人の知恵に学び、我々も自然に学び、土木技術文化を伝えていかねばならないと考える。
- 3) 真摯に正直に、技術士として邁進する覚悟でいる！

ホーム > 知識・解説 > 火山 > 活火山とは

活火山とは

かつて使われた「休火山」「死火山」とは

昔は、今現在活動している、つまり噴火している火山は「活火山」、現在噴火していない火山は「休火山」あるいは「死火山」と呼ばれていました。例えば、富士山のように歴史時代(文献による検証可能な時代)に噴火記録はあるものの、現在休んでいる火山のことを指して「休火山」、歴史時代の噴火記録がない火山のことを指して「死火山」という表現が使われていました。

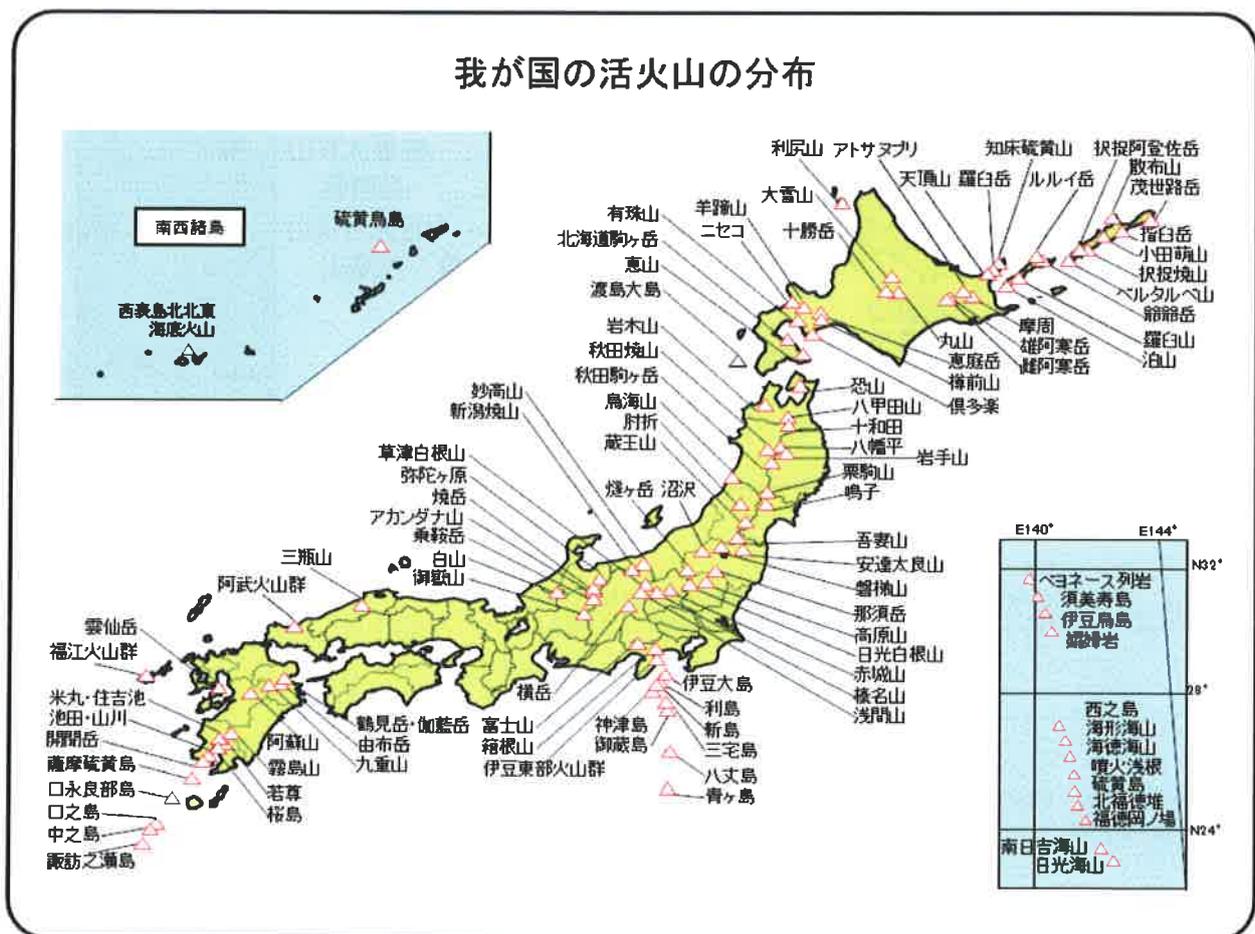
「活火山」の定義と活火山数の変遷

しかし、火山の活動の寿命は長く、数百年程度の休止期間はほんのつかの間の眠りでしかないということから、噴火記録のある火山や今後噴火する可能性がある火山を全て「活火山」と分類する考え方が1950年代から国際的に広まり、1960年代からは気象庁も噴火の記録のある火山をすべて活火山と呼ぶことにしました。1975(昭和50)年には火山噴火予知連絡会が「噴火の記録のある火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山と定義して77火山を選定しました。

この77火山は主として噴火記録がある火山が選ばれていましたが、噴火記録の有無は人為的な要素に左右される一方、歴史記録がなくても火山噴出物の調査から比較的新しい噴火の証拠が見出されることも多くなり、1991年(平成3)年には、火山噴火予知連絡会が活火山を「過去およそ2000年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」と定め、83火山を選定し、その後1996(平成8)年にはさらに3火山が追加され、活火山の数は86となりました。

しかし、数千年にわたって活動を休止した後に活動を再開した事例もあり、近年の火山学の発展に伴い過去1万年間の噴火履歴で活火山を定義するのが適当であるとの認識が国際的にも一般的になりつつあることから、2003(平成15)年に火山噴火予知連絡会は「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山と定義直しました。当初、活火山の数は108でしたが、2011(平成23)年6月にはさらに2火山が新たに選定され、**活火山の数は現在110**となっています。

我が国の活火山の分布



「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」の選定

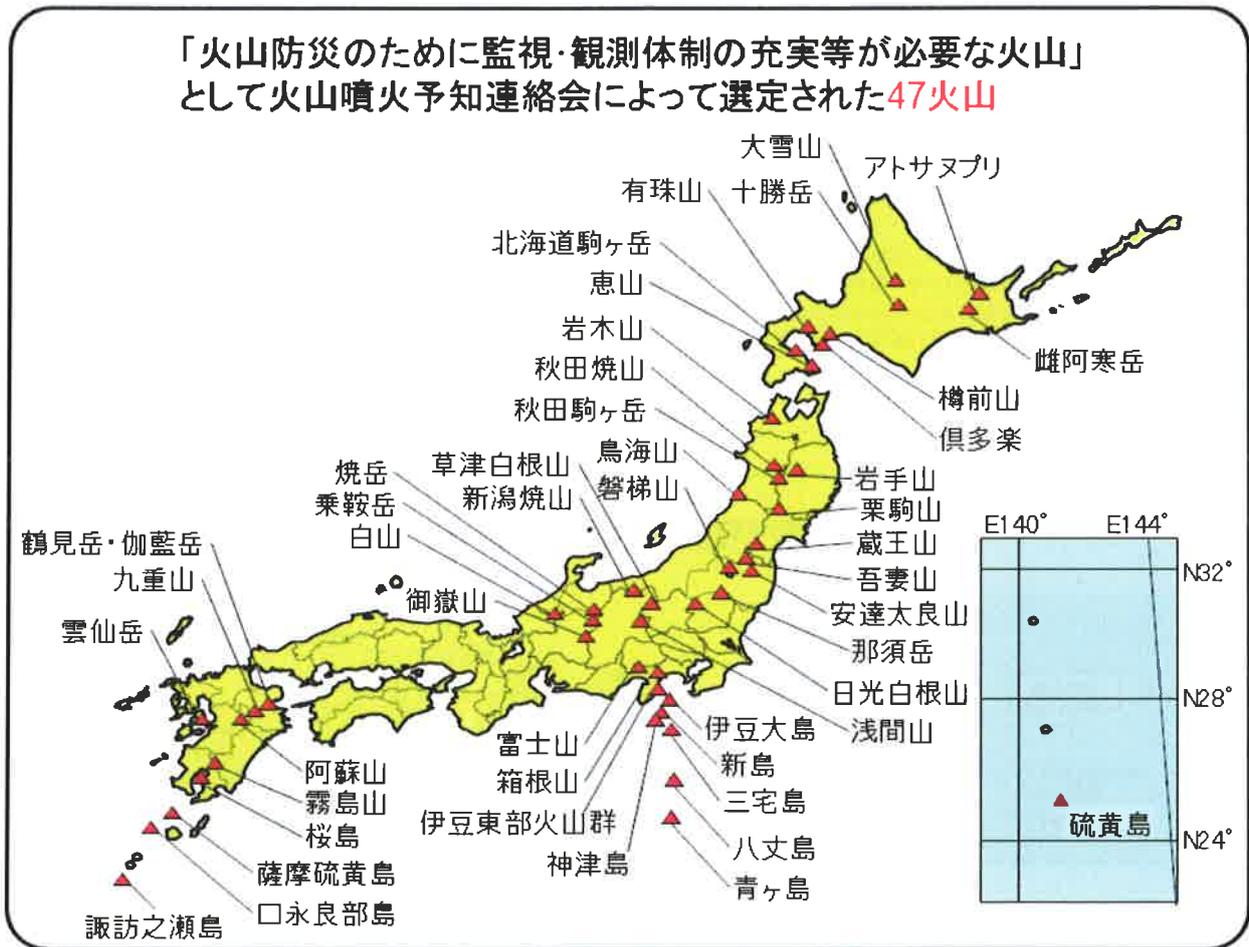
さらに、2009(平成21)年6月、今後100年程度の中長期的な噴火の可能性及び社会的影響を踏まえ、「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要がある火山」として47火山が火山噴火予知連絡会によって選定されました。

これら47火山の選定を受けて、気象庁では、噴火の前兆を捉えて噴火警報等を適確に発表するために、地震計、傾斜計、空振計、GPS観測装置、遠望カメラ等の観測施設を整備し、関係機関(大学等研究機関や自治体・防災機関)からのデータ提供も受け、火山活動を24時間体制で常時観測・監視しています。

「火山の監視」については[こちら](#)

※なお、平成15年1月に火山噴火予知連絡会によって発表された「火山活動度による活火山の分類(ランク分け)」は、今後の噴火の可能性や社会的な影響が考慮されていないことから、現在、気象庁では使用していません。

「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」



このサイトには、Adobe社 [Adobe Reader](#) が必要なページがあります。お持ちでない方は左のアイコンよりダウンロードをお願いいたします。

[このページのトップへ](#)

気象庁：〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 代表電話：03-3212-8341

[著作権・リンク・個人情報保護](#)

[利用上の注意について\(免責事項\)](#)

2015年度 立命館大学校友会 東北応援ツアー 福島県報告

2015年 11月 14日

立命館大学技術士会 糸田川 廣志

2015年11月7日～8日、校友会東北応援ツアーで、福島県を訪問した。
7日は、原発事故で全町避難の浪江町(なみえまち)、Jヴィレッジを見学し、
ハワイアンズに宿泊した。

8日は、トマト栽培農業法人“あかい菜園”→“アクアマリン福島”→“いわき
・ら・ら・みゅう”を経て、郡山駅にて解散した。

この中で、貴重な体験となった浪江町について主に報告する。資料の中に『なみえ復興レポート』があるので、参照。

バスで浪江町に入ったが、全町避難のため人影はなく、限られた人間が、
おそらく時間を限定して居ると考えられる。

大震災から4年8ヶ月経過しており、明らかに朽ちているところが見えており、
見えないところもネズミやイノブタに荒らされていると聞いた。

人が住まない家屋の荒廃は加速的に進むと思われるため、住居も店舗等も
年月とともに荒廃が進むと予測する。

除染は進んでおらず、インフラ復旧もまだまだである。

いざ帰還となっても、現状では生活できる可能性は低いと感じる。

現状でこの状態であり、平成29年度本格復興期を目標にしているが、本当に
それでよいのか、極めて疑問に感じる事態である。

福島第1原発は、まだ収束廃炉の見通しはなく、炉心溶融(メルトダウン)して
いると予測されており、コントロールされている状況にはないと考える。

すなわち、今後の状況で放射能飛散が再度拡散し、浪江町を襲う可能性は
無いとは断言できない状況にあると考える。

このような状況から、私が思ったことは以下のとおりである。

- ①帰還するとしても、住居、店舗は改修するか、建て直すか等が必要だ！
- ②その費用は個人財産であるため、個人負担、企業負担となるのか？
- ③改修、建て直し時のゴミ類はどのように処分するのか？
- ④以上の3点を考えただけでも、帰還が極めて困難であり、リスクがある。
- ⑤要因は原発事故で、否応なしに故郷を追われたわけである。
- ⑥したがって、原因者が負担するのが当然と考えるが、東京電力にその力
があるとは思えない！
- ⑦電力を供給してもらっているエリアの受益者からは、負担の声はない。
- ⑧国も他人事のように、冷静沈着である。

以上より、大震災直後に直感したことを次に述べる。

- 1) 放射能汚染から逃れるには、できる限り遠くへ逃げるべし！
- 2) 自分の命、家族の命、子供の命を考え、故郷を捨てる覚悟をすべきだ！
- 3) 国は、福島県民を移転させて、新しい国づくりをし、原発所在地の安全確保に努め、福島県は100年以上、国が管理する！

以上のような事を、大震災直後に直感した。

今回、浪江町に行き、その判断は妥当であると自分では納得した。

それほどまでに、原発事故は重き罪深い事故であり、人災であるとする、





なみえ復興レポート

平成27年10月
福島県浪江町



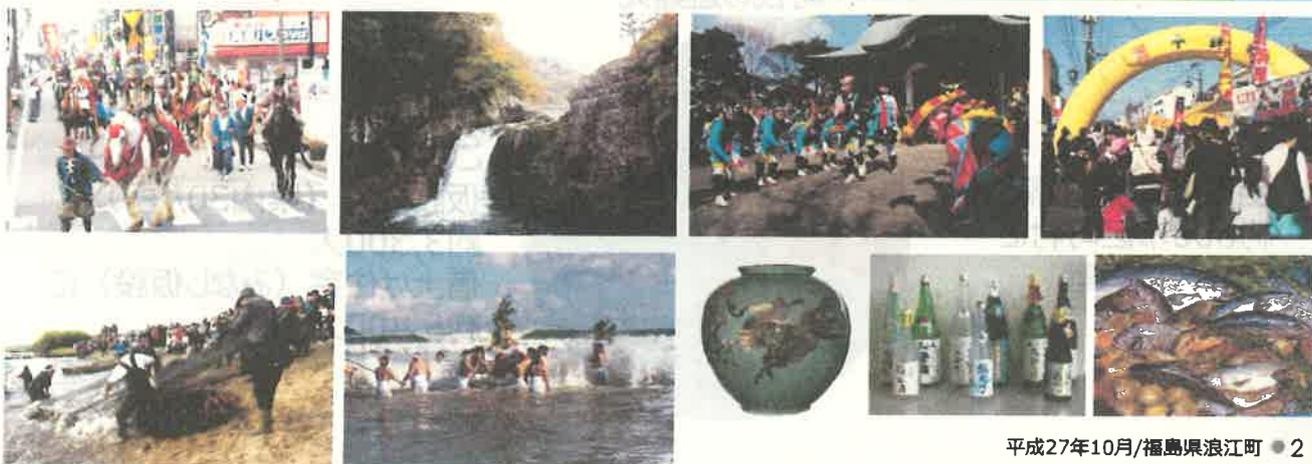
● 浪江町の自然と文化 ● 1

ふるさと浪江町

海と山と川に囲まれ、自然に恵まれたまち
歴史と伝統を大切にするまち
資源を生かした、にぎわいのあるまち



震災時人口	21,434人 (このほか外国人108人)
世帯数	7,671世帯
面積	223.14km ²



復興の歩み (7) 健康管理

▽放射線による健康被害の未然防止、健康不安の軽減

平成24年4月：町独自にホールボディカウンターを導入、内部被ばく検査を開始

平成24年6月：全町民に「放射線健康管理手帳」を交付、
全世帯に電子線量計を配布

平成24年度～：甲状腺検査を開始（福島県が実施しない年に実施）

平成25年度～：バッジ式積算線量計の貸出しによる外部被ばく線量測定を開始

- 仮設診療所（二本松市内、浪江町内）の開設
- 医療機関等との連携・協力
- 巡回訪問相談の実施（孤立防止、外出支援、心のケア）
- 放射線基礎セミナー、放射線に関する講習会などの開催



平成27年10月/福島県浪江町 ● 15

復興の歩み (8) 学校教育

町内6つの小学校と
3つの中学校に約1,700人



避難先の全国350の小学校と
220の中学校に約1,340人

- 平成23年8月に浪江小・浪江中が再開（二本松市内）
- 平成26年4月に津島小が再開（浪江小と合同授業）
⇒ 3校あわせて現在35人が在学中
- 平成24年度、浪江小に郷土を愛する心を育む「ふるさとなみえ科」を創設



平成27年10月/福島県浪江町 ● 16

復興の歩み (9) つながりの維持

▽復興支援員の配置、交流会の開催、交流館の設置

- 1府9県に約30名の復興支援員を配置
- 全国に避難している町民への訪問活動など、一人ひとりに寄り添う支援
- 県内3か所に交流館を開設、さらに県内外で交流会を開催

▽タブレット端末を利用した「きずなの維持」

- これまでに約6,500台を配布
- 町民の声を聞いて開発したオリジナルアプリ（なみえ新聞など）で、高い利用率を実現
- 活用促進と交流を兼ねて、県内外で講習会を多数開催



浪江町タブレット
キャラクター「うげどん」

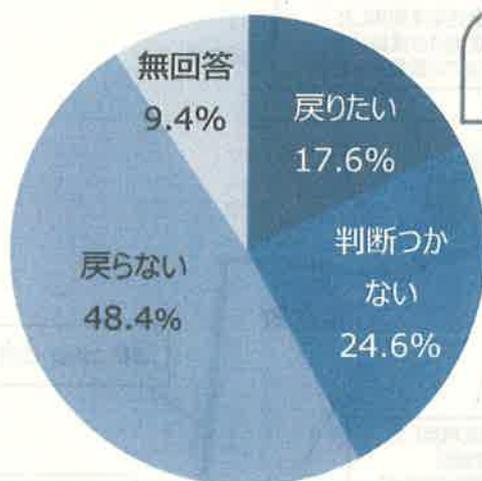
▽「浪江のこころ通信」(町民へのインタビュー連載)

- 福島県内外に分散避難した町民の思いをつなげる
- 「広報なみえ」に綴じこみ、これまで延べ約300人(家族)が登場

平成27年10月/福島県浪江町 ● 17

復興の歩み (10) まちづくりの考え方

避難指示解除後の帰還意向



『復興まちづくり計画』(平成26年3月策定)

- ▼避難指示解除直後の町内人口の想定：
2,500世帯5,000人
(町外と2地域居住する世帯を含む)
- ▼まちの復興拠点：
避難指示解除準備区域/居住制限区域

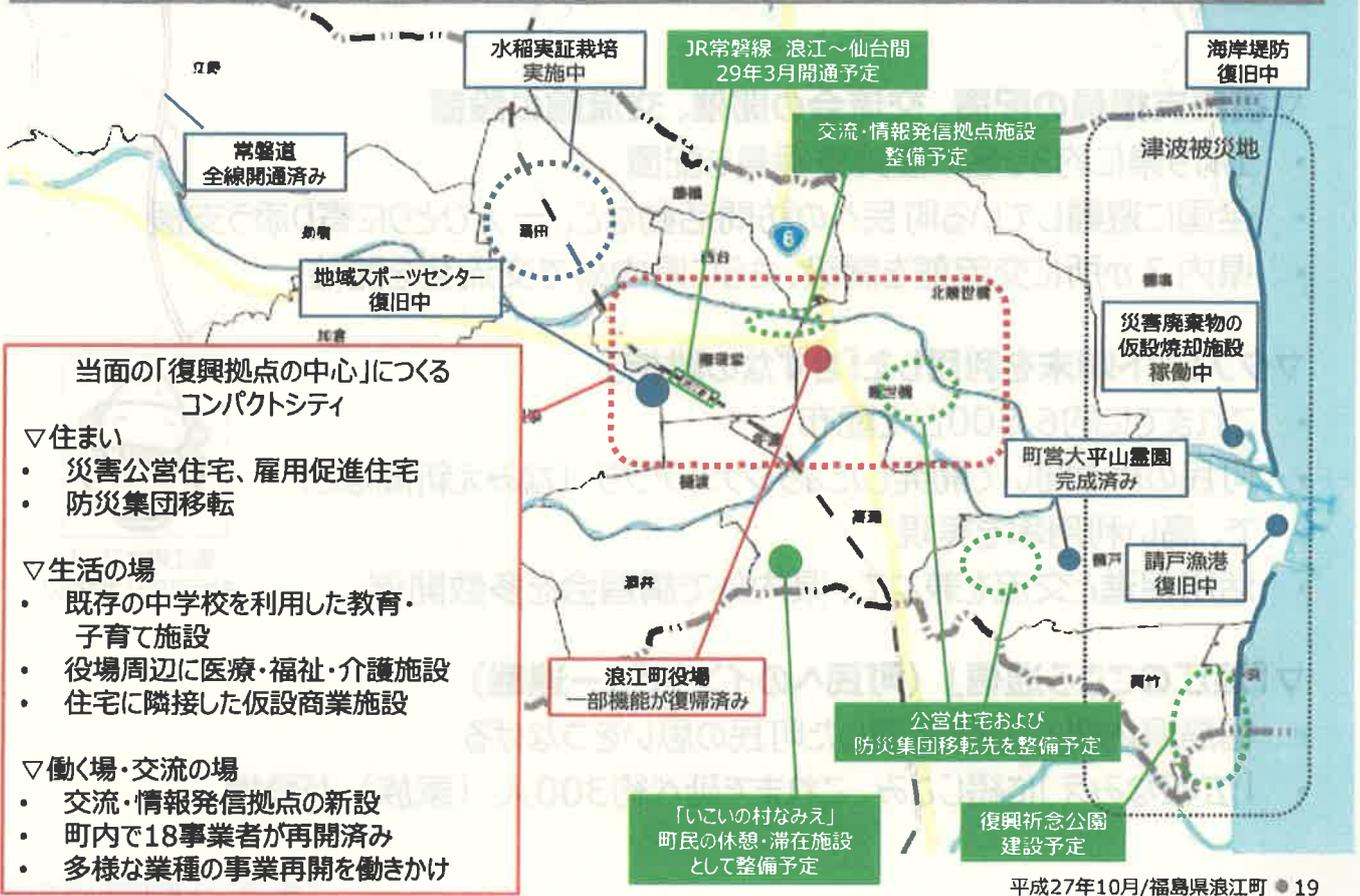


調査の概要

- 調査対象 世帯の代表者 9,749世帯
- 調査時期 平成26年8月
- 回収数 5,796世帯
- 回収率 59.5% (前年度63.5%)

平成27年10月/福島県浪江町 ● 18

復興の歩み (11) 復興まちづくり (復興拠点) の現状



復興の歩み (12) 復興拠点の中心につくるコンパクトシティ



復興の歩み (13) 双葉郡北部の復興拠点を担う

さらに――

- **一次産業の再生** (浪江町だからできる、放射性物質に関する検査・調査・研究)
- **学術研究都市の形成** (被災地だからできる、記録資料の収集・保存、人材育成)
- セメント、金属などの**資材リサイクル拠点の設置**
- 再生可能エネルギーを町外から集約・供給する**蓄電エネルギー拠点の形成**

⇒ 国の「イノベーション・コースト構想」と融合するまちづくり

⇒ 双葉郡全体の復興に寄与



平成27年10月/福島県浪江町 ● 21

いつか再び町に「暮らし」をとり戻す日のために
一歩ずつ復興の歩みを進めていきます



仮設住宅を訪問した間寛平さんとともに

福島大特任研究員

開沼 博氏

寄稿



かいぬま・ひろし いわき市出身。東大文学部卒、同大学院博士課程在籍。復興支援の調査研究、被災地の現状を伝える情報発信活動を展開している。著書に『はじめての福島学』など。37歳。

浜通りを縦断する国道6号の美化を目的とした清掃ボランティア活動「みんなぞやっぺーきれいな6国」が10月10日、行われた。地元のNPOや青年会議所を中心とした実行委員会が主催し、中高生約200人を含む1440人ほどが参加。多くのメディアが「復興への一歩」と明るく報じた。しかし、主催者には人知れぬ苦勞があった。反被ばくを掲げる市民運動団体が、イベント開催を阻止しようとする動きを繰り返したのだ。

「避難指示がかかる地域も残る国道6号で子どもとゴミ拾いをして被ばくを促すのか。すぐに中止しろ」というのがその主張。主催者や協力を予定する組織には「抗議」の文書や電話、メールが繰り返され、「美談にすり替えた虐待」「国賊」「殺人行為」といった言葉が投げつけられた。

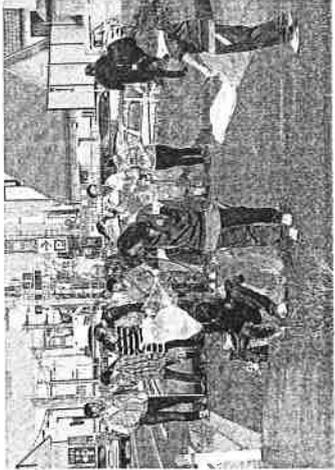
当日、県外から押し寄せた雑誌記者やジャーナリストの言動にも強引さが目立った。中には子どもたちを含む参加者の横で、線量計をかざしながら勝手に写真を撮っては壇々としてインターネットにそれを公開した者もいた。無理解と「福島＝絶対危険」という価値観以外認めないというイデオロギイが背景に存在する。そもそも、この清掃活動は2007(平成19)年から毎年、行われていた。再開のきっかけも地元の子どもの強い思いがあつてのこと。線量の高い地点が残る避難区域の清掃は大人のみが行った。もともと、いわき市から新地町までの清掃範囲の中で避難区域は限定的だ。

先鋭化する市民運動がなす「誹謗中傷」が直接的に、あるいはインターネットを介して被災者に向けられるの

7(平成19)年から毎年、行われていた。再開のきっかけも地元の子どもの強い思いがあつてのこと。線量の高い地点が残る避難区域の清掃は大人のみが行った。もともと、いわき市から新地町までの清掃範囲の中で避難区域は限定的だ。

先鋭化する市民運動がなす「誹謗中傷」が直接的に、あるいはインターネットを介して被災者に向けられるの

根拠なき偏見許されず



地元高校生らが参加した国道6号での清掃活動＝10月10日、南相馬市原町区

は、今回にとどまらぬ。農家など食べ物に関わる生業につく住民に「毒を作るな、売るな」と避難から帰還した母親や県内の教育関係者に「子どもを傷つけるのか」「洗脳されている」といった言葉が向かう。このような事態が身近で常態化していることを知りながらも「彼らの脱原発の主張には共感するから」「放

射線への不安を口にするのは仕方ない」などとそれを黙認する意見が県内にも残るのは残念なことだ。原発、放射線への政治的立場とこの誹謗中傷は分けて考えなければならない。

「誹謗中傷はタマだが、それを受ける側にも怪しい部分があるのでは」といったどっちもどっち論や「極端な言動の人は全体から見ればごく一部にすぎない」といった一部の異常者論とともに正当化・看過される。

しかし、いかなる理屈があつても抵抗するすべを持たない罪なき地域の「住民が根拠なく「殺人者」扱いされ吊し上げを食らう理由はない。少数者の行いであつても、イトスピード、イトクライムが全て存在し、そこに生きる人の尊厳を脅かす状況は許されない。

それを黙認する者が存在し続ける限り、私たちの誰もがその被害に遭う可能性の中に置かれ続ける。今回のようにただ普通に生活をしようとする望む子どもたちが嫌な思いをする。その子どもたちが大人になった時に根拠なき偏見にとらえられる。農家や漁師、観光に関わる方々が懸命に働いていられなき侮辱をされ、損害を受け続ける。弱い立場に置かれ冷静な判断が難しい人が、不安な気持ちを抱きつけられて非科学的なうそを信じ、またそれ悪意を持った者に利用される。

これは、深刻な人権侵害・差別問題だ。加害者には毅然とした対応をとり、被害を増やさないよう努力することが重要だ。3・11から5年目に向け、あらためてこの課題を直視すべきだ。

調査

震災後における福島県産農産物の 売上・取引価格の回復状況について

<要 旨>

1. 震災後の農業

農業の県内総生産（名目）は平成25年度早期推計で1,070億円、農業産出額は平成25年に2,049億円で、いずれも震災前を下回っている。

2. 主力6品目の動向

県が指定する主力6品目（きゅうり、トマト、アスパラガス、もも、日本なし、りんどう）の合計をみると、農家戸数、栽培面積、販売額、出荷量は震災後の価格低迷や農業従事者の高齢化等の影響もあり震災前より減少している。避難指示区域の解除や除染の進捗により徐々に園芸産地復興計画の効果が表れてくるものと期待される。

3. 消費者意識

各業界団体等が実施する首都圏・大都市圏等での消費者意識調査をみると、福島県産品に対する拒絶反応は次第に低下の傾向がみられる。調査の結果が購入につながるの歓迎すべきだが、福島県に対する関心を失い、震災・原発事故が風化しつつある結果が反映されていることも危惧され、消費者に向け発信を継続していくことが求められる。

4. 今後の見通し

大手スーパーの復興支援セールが継続的に開催され、海外輸出も再開されるなど、消費者が福島県産食材を手に入る機会も増えている。食材ごとのばらつきはあるが、価格は全国平均並みに戻りつつある。風評被害の払拭には相応に時間をかけた地道な活動が必要となるが、震災・原発事故を風化させないための発信を続けることにより、更なる今後の回復が期待される。

はじめに

本県は、太平洋に面する比較的温暖な浜通りから豪雪地帯を有する会津まで、気候風土の異なる地域で構成されており、野菜、米穀類、果物など、多種多様な農産物を産出している。しかし震災以降は出荷制限や風評被害など、農業にとって苦難が続いている。

生産基盤の崩壊や担い手の減少による営農離れ

の危機に直面する中、県では新たなプロジェクトを立ち上げ、支援・推進を集中的に行うべく取り組んでいるところである。本県の農産物といえば、もも・りんごなどの果物から、米、きゅうりなどの野菜まで、産出額が全国上位に入るものも多い。本県農業の一日も早い完全復活が待たれる。

県内復興には、震災を契機に大きく揺らいでしまった本県産農産物への信頼を取り戻すことが不可欠なテーマとなっており、本稿では震災後の本

県産農産物の売上・取引価格の回復状況を考察してみた。

災前の水準には戻っていない(図表1)。

1. 本県における農業の規模

(1) 県内総生産

農業の総生産(名目)は平成25年度早期推計で1,070億円となり、平成20年度比△14.8%である。震災により減少した後、増加に転じているが、震

(2) 農業産出額

農業産出額は平成20年に2,505億円であったが、それ以降は減少傾向で推移したことに加え、震災の影響から平成23年には1,851億円まで低下した。平成25年は2,049億円まで回復しているが、震災前から1割以上減少したままである。

平成25年の農業産出額を他の産業と比較すると、

図表1 産業別県内総生産(名目)

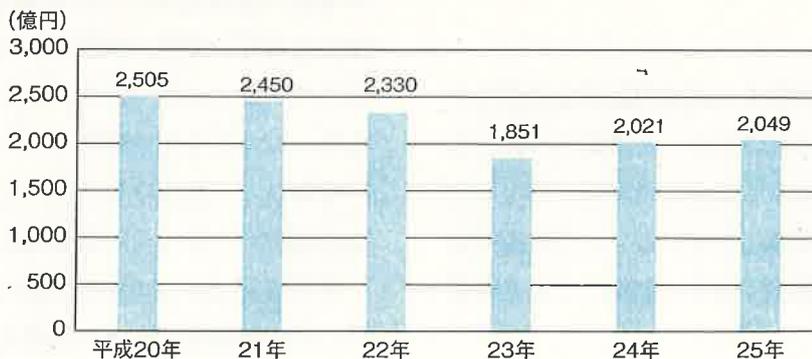
(単位:百万円)

	平成20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	20年度比
第1次産業	144,721	143,624	138,711	112,199	114,676	116,731	△19.3
農業	125,482	125,548	122,446	101,603	105,698	106,965	△14.8
林業	8,661	8,364	7,650	6,188	5,454	6,111	△29.4
水産業	10,578	9,712	8,614	4,409	3,523	3,655	△65.4
第2次産業	2,147,872	1,988,918	2,000,970	1,803,840	2,125,217	2,386,519	11.1
鉱業	4,103	3,582	3,555	4,339	5,833	7,328	78.6
製造業	1,757,808	1,609,207	1,648,557	1,271,079	1,461,475	1,621,134	△7.8
建設業	385,961	376,130	348,858	528,422	657,910	758,057	96.4
第3次産業	5,113,545	4,909,061	4,805,270	4,402,343	4,521,811	4,714,188	△7.8
電気・ガス・水道業	711,579	656,377	624,261	251,547	313,154	454,223	△36.2
卸売・小売業	673,655	614,659	610,613	598,487	601,777	613,111	△9.0
金融・保険業	257,223	256,135	248,730	238,448	241,139	239,936	△6.7
不動産業	739,667	754,011	758,555	723,922	733,315	742,738	0.4
運輸業	313,821	297,063	295,198	296,670	315,733	326,672	4.1
情報通信業	190,121	184,156	181,342	172,791	171,811	167,630	△11.8
サービス業	1,345,343	1,285,234	1,240,610	1,230,081	1,278,632	1,320,032	△1.9
政府サービス生産者	784,736	769,613	749,439	788,564	759,948	745,099	△5.1
対家計民間非営利サービス生産者	97,401	91,813	96,521	101,834	106,303	104,748	7.5
第1次～第3次産業計	6,524,003	6,180,177	6,098,990	5,427,985	5,895,453	6,367,591	△2.4

福島県「福島県県民経済計算年報」より作成、平成25年度は早期推計

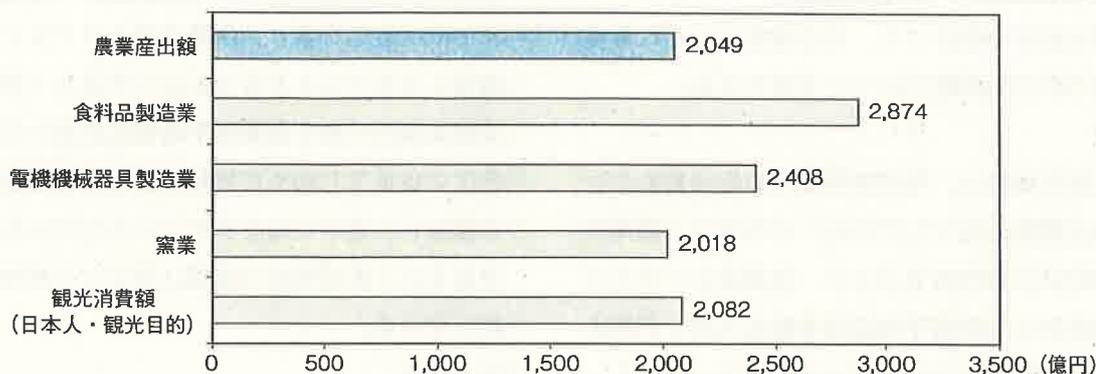
第1次～第3次産業計には輸入品に課される税・関税等が含まれないため、県内総生産合計とは一致しない。

図表2 本県の農業産出額



農林水産省「生産農業所得統計」より作成

図表3 本県の農業産出額と製造品出荷額等との規模比較（平成25年）



農林水産省「生産農業所得統計」、観光庁「全国観光入込客統計」、福島県「工業統計調査結果報告書」より作成

観光消費額（日本人・観光目的）や窯業の製造品出荷額等と同様の水準となっている。減少はしているものの、産出額が2,000億円を超える農業は、本県において重要な産業であることが改めて確認できる。

2. 福島県産農産物の取引数量・価格

(1) 主な農産物の収穫量推移

農林水産省が統計を実施している「作況調査」より、主な農産物の収穫量と全国順位をみると、ほとんどが震災後に収穫量は低下したものの、復

興支援セールなども開催されたことにより、ももは震災前の水準を上回っている。また、夏秋期に出荷される夏秋きゅうりは、震災後も全国1位の出荷量を維持している。

一方、米（水稻）は震災前に全国4位の収穫量であったが、震災後の収穫量は震災前の8割前後で、7位まで順位が低下したままとなっている。また、かきは震災前に全国4位の収穫量であったが、震災後は震災前の3分の1以下まで減少した。次第に収穫量は増加しているが、平成26年産でも半分以下の水準にとどまり、順位も13位まで低下している（図表4）。

図表4 主な福島県産食材の収穫量と全国順位（上段：収穫量、下段：全国順位）（単位：トン）

	平成22年産	23年産	24年産	25年産	26年産
もも	28,200	29,000	27,500	29,300	29,300
	2位	2位	2位	2位	2位
りんご	31,600	26,300	28,100	26,800	27,600
	5位	5位	5位	5位	5位
日本なし	23,200	21,600	17,800	19,800	19,600
	3位	4位	6位	4位	4位
かき	14,000	4,550	4,480	4,890	6,450
	4位	11位	11位	11位	13位
ぶどう	3,110	3,150	3,300	3,270	2,930
	12位	12位	11位	12位	12位
米（水稻）	445,700	353,600	368,700	382,600	366,200
	4位	7位	7位	7位	7位
夏秋きゅうり	40,000	35,700	37,800	33,500	33,700
	1位	1位	1位	1位	1位
夏秋トマト	22,900	17,100	21,500	20,700	20,000
	4位	8位	4位	5位	5位

資料：農林水産省「作況調査」

(2) 主な農産物の取引価格動向

農林水産省の統計より、主な農産物における震災前後の取引価格動向について見てみる。

① 米

米の取引価格は、平成26年産米の供給過剰の影響から全国的に低下している。その中で、福島県産米の相対取引価格をみると、会津産コシヒカリは震災前から全銘柄平均価格を概ね上回り、震災後も同様の値動きとなっている。一方、中通り・浜通り産コシヒカリは震災前に全銘柄平均価格並みであったが、震災後の平成24年は1,000円以上下落する状況が続いた。平成25年は差が500円程度まで縮まったが、平成26年の後半以降は再び1,000円以上下落する状況となっている（図表5）。

元来、会津産をはじめとする福島県産米はその

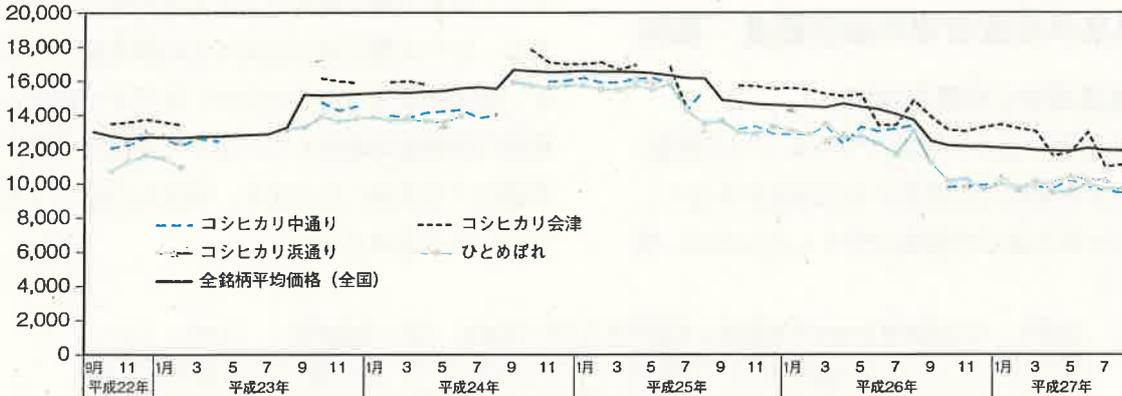
品質に高い評価を得ていた。福島第一原発から離れていることもあり、会津産はそのブランド力を回復してきていると言えるが、中通り・浜通り産は震災以降一度も全銘柄平均価格に届いていない。県内では世界で初めて放射性物質の全量全袋検査を実施し、安全・安心をアピールしているところであるが、取引価格の回復にはいま一步の状況が続いている。

② もも

ももは、震災以降にスーパーの復興支援セール等の需要があり、取扱数量自体は増加した。しかし、一方で取引価格は低下し、平成23年8月中旬には167円/kgまで下落した。その後、次第に価格は上昇し、平成25年9月下旬に453円/kgとなり、震災以降初めて全国平均（448円）を上回った

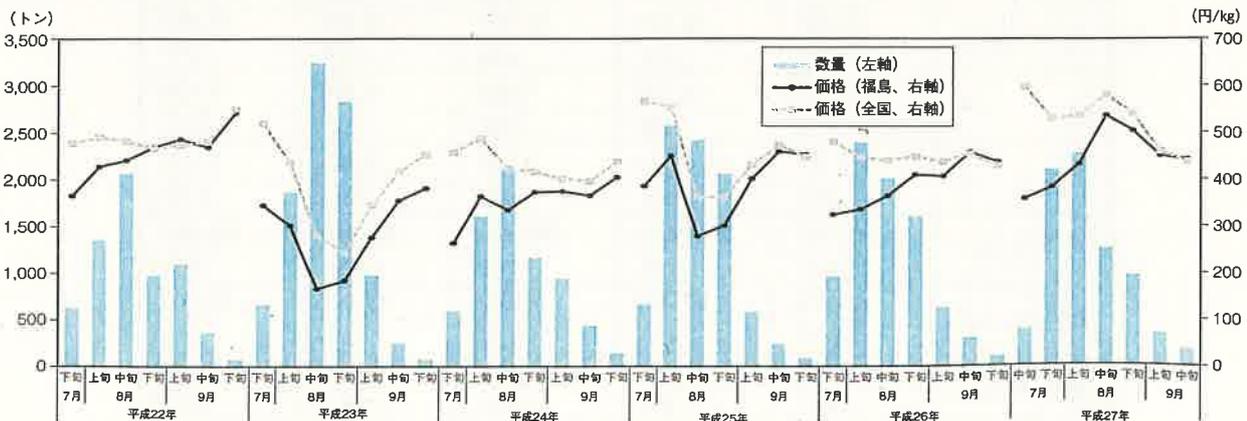
図表5 米の相対取引価格推移（出荷業者、速報）

（円/玄米60kg税込）



資料：農林水産省「米の相対取引価格・数量」より作成 消費税相当額は平成26年3月分まで5%、同4月分以降は8%で算定

図表6 福島県産「もも」の取扱数量及び取引価格



資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

(図表6)。

収穫量が全国2位である本県産のももは、元来甘くて美味しいと定評がある。山梨県産は4月には市場へ出回り始め、7月に取扱量がピークを迎える。一方、本県産の取扱が増加するのは7月下旬から8月にかけてであり、市場における8月の取扱量は本県産が圧倒的に多くなる。既に取扱量では震災前を上回っており、安全性と美味しさの更なるPRにより全国平均と同等以上の価格設定が期待される。

③ その他の品目

米、もも以外の主な品目の取引価格をみると、トマト、ピーマン、さやいんげんは、全国平均との差が開く時期もありながら、直近では全国平均に近い水準を維持し、きゅうりは全国平均を上

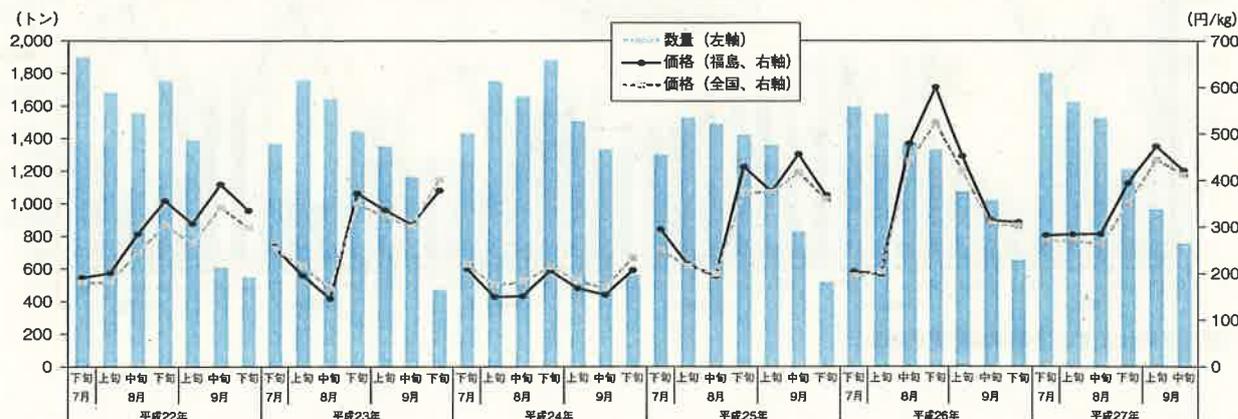
回っている。一方、日本なしは平成23年に全国平均を大きく下回って以降、差は縮まっているものの全国平均には届いていない(図表7-1~5)。

④ 今後の見通し

価格については、震災直後の全国平均との大幅に乖離した状況から回復がなかなか進まないものもあり、安全・安心が消費者に浸透するには更に時間を要するものとみられる。しかし品目ごとのばらつきはあるものの、全国の市場における取扱数量は震災前と比べ遜色ない水準まで概ね回復し、品目によっては既に震災前を上回る時期もある。

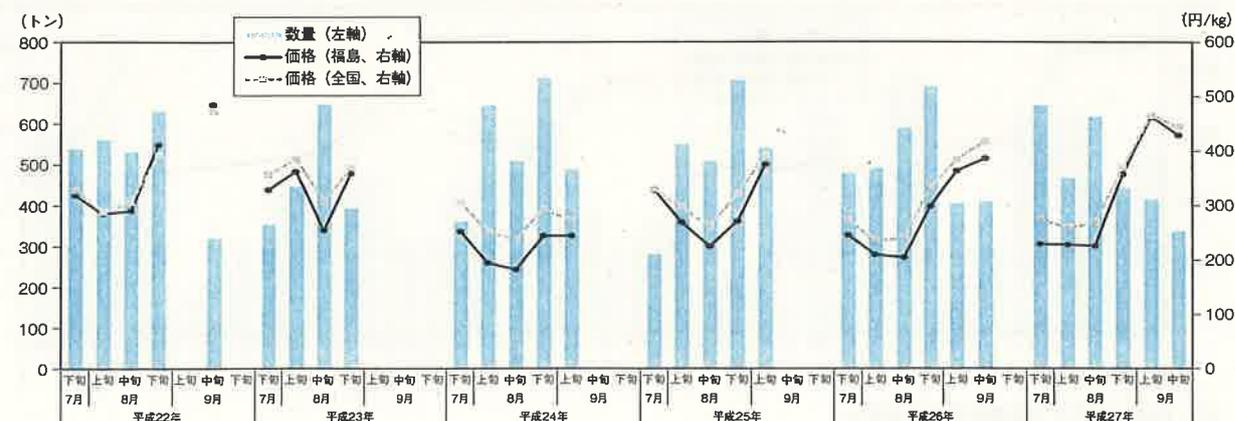
相応に時間をかけた地道な活動が必要となるが、取引量の増加とともに取引価格が全国平均に並ぶ品目もあり、消費者に浸透することで更なる今後の回復が期待される。

図表7-1 福島県産「きゅうり」の取扱数量及び取引価格



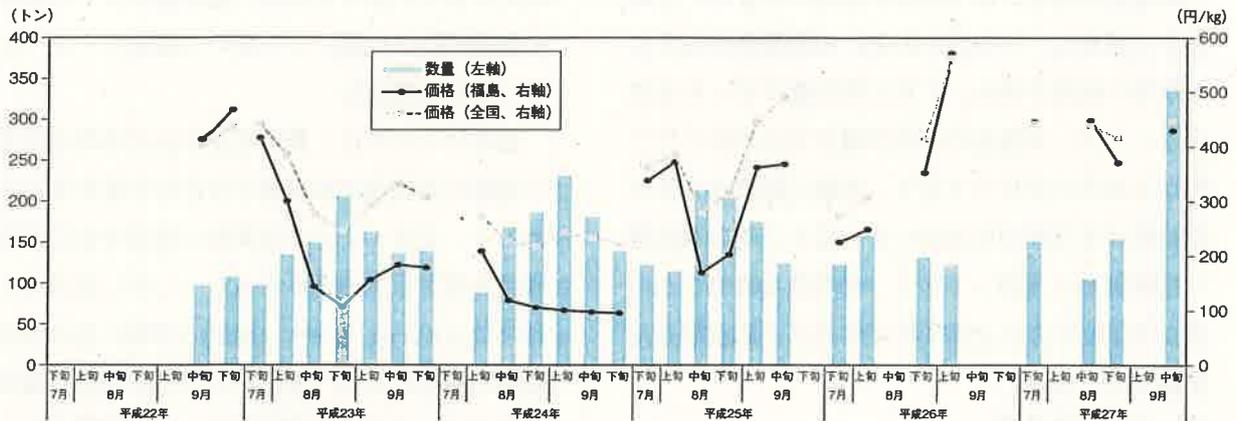
資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

図表7-2 福島県産「トマト」の取扱数量及び取引価格



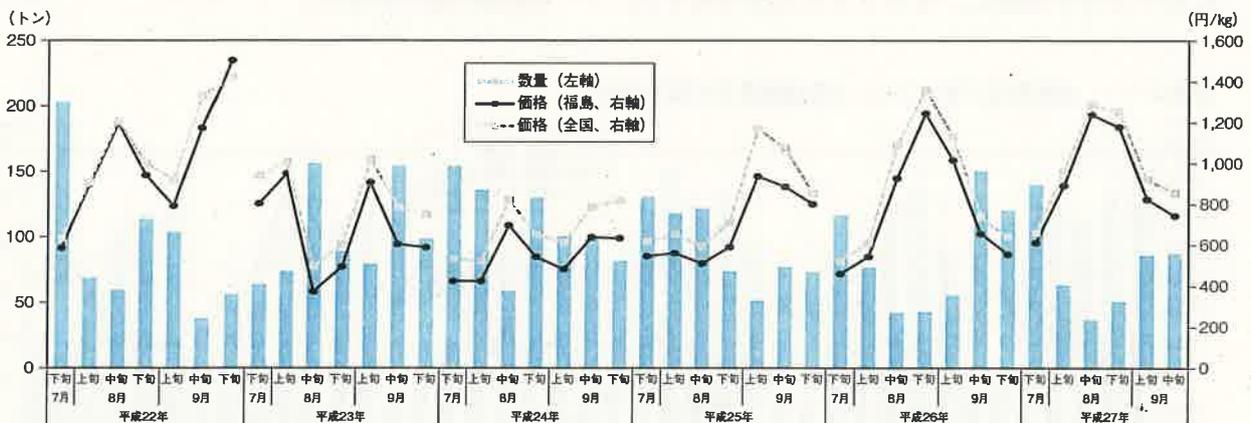
資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

図表7-3 福島県産「ピーマン」の取扱数量及び取引価格



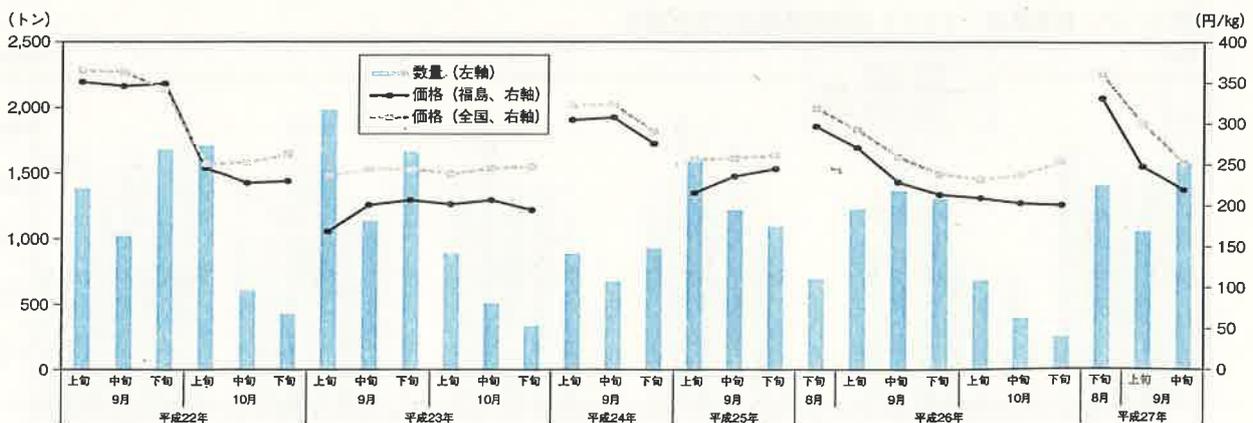
資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

図表7-4 福島県産「さやいんげん」の取扱数量及び取引価格



資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

図表7-5 福島県産「日本なし」の取扱数量及び取引価格



資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

ファミリー

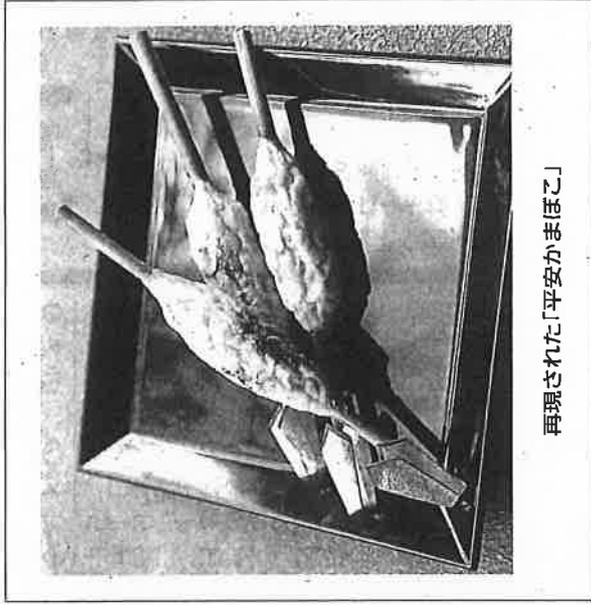
あちこちなるほど 探訪記

長谷川正人

11月15日は「かまぼこの日」である。宮城県の特産物の一つが「かまぼこ」。全国産鮮(かまぼこ)水産加工業協同組合連合会(全かま連)に加盟する県内のかまぼこ業者は約50社ある。

昔かまぼこは、明治の初めに三ツ又の太巻が続き、その利用と保存のため、すり身にしてまたたき笹の葉の形に包み、1906年創業と歴史は浅いがエニクである。2011年の東日本大震災で閉じたあった工場も遺品も全て焼された。復興のため、J.R名取駅近くに焼きた店舗の中に小さな工房を造り、善意で譲られた遺品類などを使って一枚一枚丁寧に作る50年以上前の手法を復活させた。

この「手むき笹かまぼこ」



再現された「平安かまぼこ」

23 11月15日は「かまぼこの日」

文献登場の年にちなむ

焼いたのがルーツといわれる。命名の統一は、昭和に入つて旧仙石藩主伊達家の家紋「竹は雀(すまめ)」の笹におなごのこぶたをちれる。数ある笹かまぼこ業者の中でも、「ささま」(名取市)の味は消費者にも業界内でも注目をされた。アメリカ大使館賞、全かま連会長賞、大日本水産会会長賞などを受賞した。ところでかまぼこは、いつごろから作られているのか。文献に初めて登場したのは平

安時代である。「類聚雑異抄(るいじゆざうしよしよ)」に、関白左大臣・藤原忠実が永久3(1115)年7月21日に転居した時の祝いの膳の図が載っている。献立の一つに串に刺し、「灌餅」と

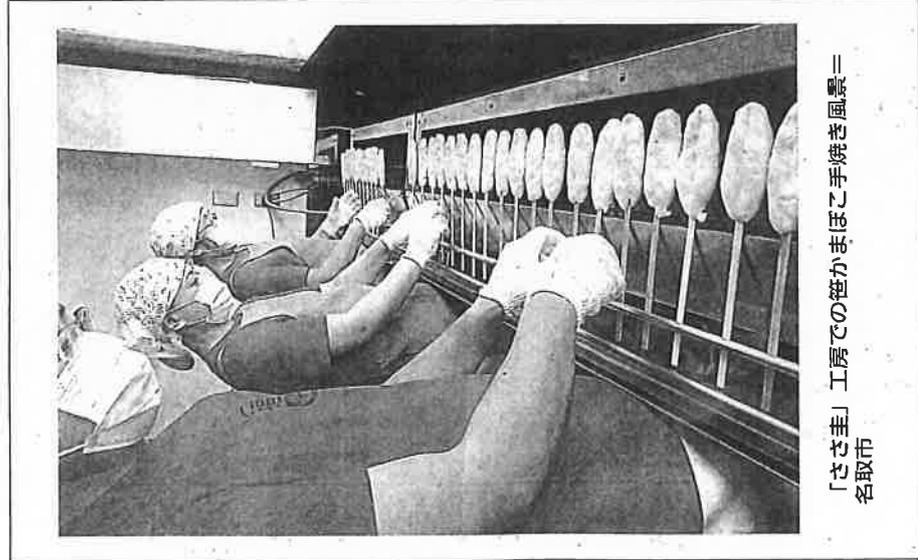
説明書きのあるものがある。これが最初である。

11月15日を「かまぼこの日」としたのは、「1115年」を正にしている。こゝには、かまぼこ誕生900年の記念の年に当たる。ちなみに、いま全国の主産を占める板付かまぼこは、室町時代から作られている。

全かま連は、この日、忠実が転居を祝った7月21日に、京都の料理店に依頼して諸文献を基に「平安かまぼこ」を再現、全国の業者たちによる試食会を開いた。「素材で増す味」が共通の感想だった。

さらに全かま連は、かまぼこの関心を高めようと「平安かまぼこ」など3種の特製品から成る100セットを販売。11月15日に向け、小学生を対象に「かまぼこ1000年」に当たる100年後のかまぼこをイメージした「夢のかまぼこ大募集」も行った。

業界の勢は壮大である。



「ささま」工房での笹かまぼこ手焼き風景＝名取市

(フリーライター)
 次回は17日掲載



NATIONAL TRAINING CENTER

J-VILLAGE

JFAナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ

- ・スポーツ合宿
- ・企業研修
- ・家族旅行
- ・ご宴会

あらゆるニーズに対応します。



株式会社 日本フットボールヴィレッジ

〒979-0513 福島県双葉郡楳葉町美玉8番
TEL.0240(26)0111 FAX.0240(26)0112
【ホームページ】 <http://www.j-village.jp/>
【E-mail】 ntc-jvillage@j-village.jp



Sports

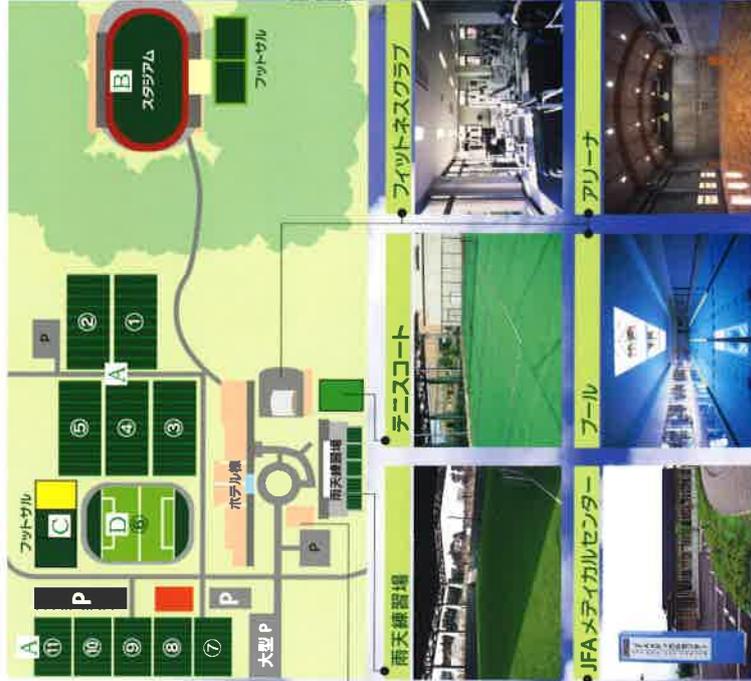
〈スポーツ施設〉

最高峰のフットボールパ

A Compact football excellence park!
FIFA ブラッター会長も絶賛

どなたでも利用可能なスポーツ施設。

サッカーナショナルトレーニングセンターとして、世界レベルのJヴィレッジ。最高レベルの天然芝フィールドがスタジアムを含め11面あります。さらに400mトラック付の人工芝フィールドが1面、雨天練習場1面、フットサルフィールド4面、ビーチサッカーフィールド1面と充実しております。その他にテニスコートが1面、25mプール、アリーナ1面とバレーボール・バスケットボール等インドア競技の練習も可能です。



Access

〈交通情報〉

都内から車で約2時間半



〈電車でお越しの場合〉

- JR常磐線「パーハピ」利用
上野ー広野(又は常野)間 約2時間30分
広野駅より車利用にて約10分
高岡駅より車利用にて約17分

〈車でお越しの場合〉

- 渋滞の少ない常磐自動車道利用
三郷ICー広野IC間 約200km
郡山ICー広野IC間 約100km
福島空港ー広野IC間 約85km
駐車場320台

セカンドステージへ STEP UP

日本サッカー協会・Jリーグ、福島県、東京電力のパートナーシップにより平成9年7月にオープンしたJヴィレッジ。電力の大生産地である福島県と大消費地である首都圏とのスポーツを通じた交流人口の拡大により、福島県の広域的・恒久的な地域振興をめざすこの施設には、小学生からサッカー日本代表まで年間約1,000チームのプレーヤーをはじめ、50万人もの人々が訪れます。

また2010 (H22) 年度中にはサッカー利用者が100万人を超えることが予想されます。これからのJヴィレッジは「スポーツと文化の発信拠点」として、皆様のさまざまなニーズに“最高の満足”をお届けする、そんな施設を目指して新たなセカンドステージへステップアップします。

J-VILLAGE Official Sponsors

- 東京電力
- 東芝
- 日立製作所
- 住友ゴム工業
- エムサービス
- 関西工
- 三井住友海上火災保険
- 三菱電機
- 前田建設工業
- ロイヤル テンカーテ
- アテイダス ジャパン
- 新常盤交通
- 三菱重工業
- 古河電気工業

Sightseeing

〈観光〉

周辺にはさまざまな観光スポットがいっぱい。浜通りの自然を満喫ください。



①陶芸の社「おおぼり」
浪江町
☎0240(35)4917
【車で約40分】
300年の伝統を誇る国指定伝統的工芸品大塚相馬焼の物産会館です。館内では陶芸教室も開催しております。

②マリナーパークなみえ
浪江町
☎0240(34)1611
【車で約45分】
プラネタリウムや観望レストランを備える水鏡コスモパルクを中心に様々な施設が充実しています。

③もりもりランド・かつら8
葛尾町
☎0240(29)2113
【車で約90分】
もりもりランドかつらおぼり近くにある「もりもりランド」探検探訪スポットキックワックが、いっぴいの森林公園です。

④高瀬川渓流
葛尾村
☎0240(29)2113
【車で約60分】
奇岩・怪岩が多く、アユ釣りに適しています。作曲家・佐々木康一が宝の高原の歌はよさづらの歌碑があります。

⑤双葉海浜公園
双葉町
☎0240(33)3586
【車で約35分】
野外調理施設を備えた本格的キャンプ場もあり、シーズンには大勢の観光客でにぎわいます。

⑥双葉パラ園
双葉町
☎0240(33)3134
【車で約30分】
ヨーロッパ風園内のような季節感の双葉パラ園には650種類約7,000本のバラが野れる人々を楽しませます。

⑦日隠山
大熊町
☎0240(32)2870
【車で約30分】
うつくしま百名山にも選ばれた日隠山は、大自然と野鳥の宝庫です。包まれた片道約2時間の登山が楽しめます。

⑧馬の背峠
大熊町
☎0240(32)2111
【車で約35分】
峠から見下ろす独特の景観と水平線の眺望は、海の大さを感じさせます。海釣りの盛んな場所がわかります。

⑨かわうちの湯
川内村
☎0240(39)1031
【車で約45分】
八角形をした新所沢デザイン温泉。裸でオムニバスに乗り込んで打ち上げ、切り盛り、肉屋の湯に効果があります。

⑩いわなの郷
川内村
☎0240(39)3511
【車で約50分】
自分で釣ったいかなり料理を楽しめる「いかなり」をはじめ、ビュッフェ気分を味わえるエリアがたくさんあります。

⑪さくらのトンネル
富岡町
☎0240(22)2111
【車で約20分】
4月になると、2千本余りの吉野桜が約2,500mのトンネルを作り出します。ライトアップされた夜桜は幻想的です。

⑫夜ノ森駅のつし
富岡町
☎0240(22)2111
【車で約20分】
5月中旬になると、夜ノ森駅のホームの土手に咲き誇るつしが、乗客の目を惹きつけてくれます。

⑬しおがせ荘(神楽野)
横濱町
☎0240(05)5725
【車で約10分】
海の見える温泉として親しまれているしおがせ荘は、太平洋を眺めながらのんびり過ごせる温泉施設です。

⑭木戸川の鮭やな場
横濱町
☎0240(25)3414
【車で約10分】
秋の風物詩として多くの観光客を魅了する鮭は、木戸川及び井出川で行われています。

ゴルフ場
クレステージカントリークラブ
TEL(0240)25-2201
リベラルヒルズゴルフクラブ
TEL(0240)22-5621

⑮沼沼総合公園
広野町
☎0240(27)2131
【車で約3分】
公園内にあるパークゴルフ場では、年々、注目をあつたニューコース「パーゴルフ」が1年中楽しめます。

⑯広野町海浜公園
広野町
☎0240(27)2131
【車で約3分】
隣接する広野町発電所からの選排水には、様々な魚が泳ぎ回る釣りポイントです。

⑰いわき・ら・ら・ミュウ
いわき市
☎0246(02)3701
【車で約60分】
市街やレストラン、ミュージアムなどが集まったいわきをまるごと味わえる観光物産センターです。

⑱アクアマリンふくしま
いわき市
☎0246(73)2525
【車で約60分】
さまざまな視点から海の不思議をときめかす新しいタイプの海洋ミュージアムです。

ークだ!

このスタジアムにいつか立つ日がくるだろう。

スタジアム B
5,000人収容可能なスタジアムは、各種大会やゲームに最適な環境です。

人工芝ピッチ D
400mトラックを併せたトレーニングに最適です。

フットサルコート C
リーグチームのトレーニングをはじめ、フットサル大会に最適な環境です。



Stay

〈宿泊施設〉

宿泊・研修施設も充実

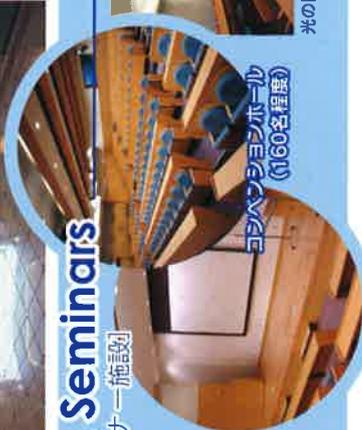
エントランスホール



Meetings & Seminars

【コバンシヨシオン&セミナー施設】

よりハイレベルな合宿をサポートする為に、大小さまざまな会議室をご用意しております。もちろん各種企業研修等も完璧にサポートします。



コバンシヨシオンホール
(160名程度)



光の間(50名程度)



研修室1~4(30名程度)



風の間(30名程度)



レクリエーションルーム



仲間と楽しく過ごす4ベッドルーム



リゾート気分を満喫できるツインルーム

スポーツ合宿、研修、観光、ビジネス、それぞれのご利用に“ゆとり”と“くつろぎ”をご提供いたします。リゾート気分を満喫したい方にはゆつたりのバス・トイレのついたツインルームがおおすすめです。カジュアルな4ベッドルームはグループ、ファミリーでワイワイ過ごすごのに最適です。

Taste

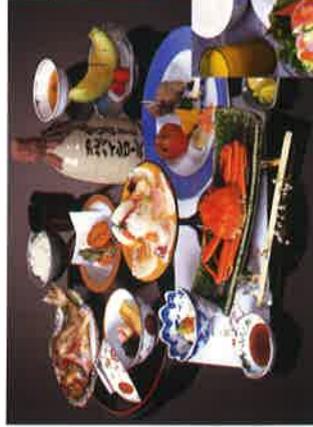
〈食事〉

一流料理人の逸品を味わってみませんか？

地元「浜通り」の海の幸や山の幸をふんだんに使用し、総料理長が自信を持ってお勧めする会席料理は絶品。ランチも旬の食材を使ったランチバイキングが評判です。どなたでもお気軽にご利用いただけます。また、パーティーやご宴会、接待などにも幅広くご利用いただけます。

最高の料理は最高の場所で…

大小さまざまなご宴会にも対応し、最高の時間をご提供いたします。



宿泊料理

地元の食材をふんだんに使用した逸品



合宿用食事

管理栄養士のサポートで、疲れた体が癒える逸品



▲バジックホール



▼緑の間



▲アルハイム・ローズ

▲ムーンライズ・テラス

▼ハーブ・タイム



たべる



青島処「潮目の海」HAPPY OCEANS

青島処「潮目の海」HAPPY OCEANS /2F

潮目の大水槽を見ながら、お寿司を食べることができます。資源量の安定した「ねた」を中心に提供します。
時間 11:00~15:00 (売り切れ次第終了)



レストランおいしい水族館「アクアクロス」/1F

魚介類を中心にオリジナルメニューを提供。



ヘミングウェイのカジメランチ

通常期/ドリンク 10:00~16:30 お食事 11:00~16:30
冬期/ドリンク 10:00~16:00 お食事 11:00~15:30

New 買う

アクアマリンショップ JOHNNON がお祝い
水魚館にも新しくお祝い品をご用意しています。

ミュージアムショップ ウミノス/1F
アクアマリンふくしまのオリジナルグッズなど楽しいグッズを取りそろえております。



AMFラングドシヤ

AMFミネラルウォーター

活魚トラック
フルトラックカー

ミュージアムショップコンパッサ/1F

シーラカンスの形のアイスモナカにぜひあじわいます。



おかげさまで15周年
アクアマリンふくしま

海を通して人と地球の未来を考える。

「アクアマリンふくしま」入館料

個人	一般1,800円 小・高校生900円
団体(20名様以上)	一般1,500円 小・高校生750円

未就学児 無料

両手を手袋をご着用の方は、入館料を返金いたします。身体障害者手帳(第1種)をお持ちの方は、お預けの乗車券(乗車券)の半額となります。お預けの乗車券(乗車券)の半額となります。

休館日 年中無休
開館時間 3月21日~11月30日...8:00~17:30
通常期 12月1日~3月20日...9:00~17:00
冬期
※入館は開館時間の1時間前まで
駐車場 500台 無料



アクセス
■電車利用
アクアマリン 徒歩約5分
JR常磐線青島駅下車→徒歩/バス
「小名浜」名 行きで15分
支所入口下車徒歩徒歩10分
■車利用
東京方面→常磐自動車道いわき西ICから約30分
仙台方面→常磐自動車道いわき青島ICから約20分

2015.4/25 OPEN
アクアマリン いなわねるカワセミ水族館
福島県郡山市代前大字赤田字中央3447-4
Tel.0242-72-1135

個人	一般(高校生以上)700円 小・中学生300円
団体(20名様以上)	一般(高校生以上)560円 小・中学生240円

未就学児 無料

休館日 水曜日
※夏休み期間(7/20~8/25)、9日の水曜日休業
※27年度通常期...4月25日(土)~11月23日(月)
開館時間 9:30~17:00(入館は開館時間の30分前まで)
駐車場 200台 無料
アクセス
JR常磐線郡山駅下車→徒歩約10分
常磐自動車道 青島ICから約15分

「アクアマリンふくしま」検索
www.marine.fks.ed.jp
アクアマリンふくしま 検索

環境水族館
アクアマリンふくしま
福島県いわき市小名浜字辰日町50
Tel.0246-73-2525 (年中無休)
アクアマリンふくしま 検索
www.marine.fks.ed.jp

体験する



釣り体験

釣り体験 / 1Fアクアマリンえっく釣り場
ご家族やグループで釣りをお楽しみください。釣った魚はその場で食べることができます。
時間 10:00~14:30
雨天釣りは中止
※混雑状況により早く受付を終了する場合があります。
年代1本/1,000円
魚1尾/100円~
(魚種による)調理代込



調理体験 / 1Fアクアマリンえっく体験スペース
釣った魚を自分で調理することができます。
バックヤードツアー
水族館の裏側をご案内します。
時間 9:30~15:30
参加費/無料
所要時間/約30分



アクアマリンうもぞき/1Fアクアマリンえっく併設
炭火焼き体験やお節割り体験が出来ます。
参加費/体験により異なります。



※都合により体験コーナーの内容や開催時間を要変更する場合があります。

aquamarine Fukushima



水深2050トンの
潮目の大水槽、
潮目を表現した
三角トンネルは
世界で仅此1!

海を通して人と地球の未来を考える。

黒潮と親潮がであう「潮目の海」

アクアマリンふくしまは、福島県沖合に現れる「潮目」がテーマです。自然や環境を再現し、さまざまな体験ができる水族館です。

展示エリアは①～⑮の番号順になっています。
観覧時間の目安：1時間30分～3時間

2015.7/20(月)オープン

① わくわく里山・織文の里(屋外)
織文人が活用していた自然環境を再現し、その豊かな自然のシンボルとして、ユーラシアカワウソウを展示しています。



ユーラシアカワウソウ



えつこの鯨

熱帯アジアの水辺

黒潮の流域

親潮の流域



北の海の海獣・水鳥(3F)



ふくしまの海(2F)



親潮の世界(1F)



熱帯アジアの水辺(3F)



サンゴ礁の海(2F)



海・生命の進化(1F)



オホホツク海(2F)



北の海の海獣・水鳥(3F)



ふくしまの海(2F)



親潮の世界(1F)



熱帯アジアの水辺(3F)



サンゴ礁の海(2F)



海・生命の進化(1F)



オホホツク海(2F)



北の海の海獣・水鳥(3F)



ふくしまの海(2F)



親潮の世界(1F)



熱帯アジアの水辺(3F)



サンゴ礁の海(2F)



海・生命の進化(1F)



オホホツク海(2F)



北の海の海獣・水鳥(3F)



ふくしまの海(2F)



親潮の世界(1F)



熱帯アジアの水辺(3F)



サンゴ礁の海(2F)



海・生命の進化(1F)



オホホツク海(2F)



北の海の海獣・水鳥(3F)



ふくしまの海(2F)



親潮の世界(1F)



熱帯アジアの水辺(3F)



サンゴ礁の海(2F)



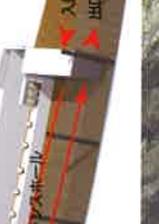
海・生命の進化(1F)



オホホツク海(2F)



北の海の海獣・水鳥(3F)



ふくしまの海(2F)



親潮の世界(1F)



熱帯アジアの水辺(3F)



サンゴ礁の海(2F)



海・生命の進化(1F)



オホホツク海(2F)



北の海の海獣・水鳥(3F)



ふくしまの海(2F)



親潮の世界(1F)



熱帯アジアの水辺(3F)



サンゴ礁の海(2F)



海・生命の進化(1F)



オホホツク海(2F)



北の海の海獣・水鳥(3F)



ふくしまの海(2F)



親潮の世界(1F)



熱帯アジアの水辺(3F)



サンゴ礁の海(2F)



海・生命の進化(1F)



オホホツク海(2F)

- ① わくわく里山・織文の里(屋外)
- ② 海・生命の進化(1F)
- ③ シーラカンスの世界(1F)
- ④ 熱帯アジアの水辺(3F)
- ⑤ サンゴ礁の海(2F)
- ⑥ 親潮の世界(1F)
- ⑦ ふくしまの海(2F)
- ⑧ 北の海の海獣・水鳥(3F)
- ⑨ オホホツク海(2F)
- ⑩ トイレ
- ⑪ 多目的トイレ
- ⑫ 多目的トイレ
- ⑬ 多目的トイレ
- ⑭ 多目的トイレ
- ⑮ 多目的トイレ
- ⑯ コインロッカー
- ⑰ 貸乳室
- ⑱ 教員室
- ⑲ 自販機
- ⑳ エレベーター

アクアマリンふくしま復興までの道のり

2011年3月11日

- 14:46 東日本大震災発生 (M9.0) 震度6弱
- 14:49 大津波警報発令
- 15:10 館内お客様の避難完了
- 15:20 津波2号埠頭岸壁を越える
- 19:30 津波最大波到達 波高4.2m(第4埠頭)



小名浜沖防波堤を越える津波



高円地区の移り地盤を走る廊下

地震・津波による被害状況



大水槽ガラス損傷

地震によって生じた波の圧力で破壊される



展示生物の9割損失

震災前の買付数750種20万点のうち9割の生物が死滅・流失



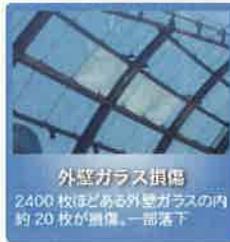
「サンゴ礁の海」観岩落下

「サンゴ礁の海」の観岩が崩落



バックヤード浸水

大水槽循環などのポンプ・空調機、熱交換機・配電盤等が浸水



外壁ガラス損傷

2400枚ほどの外壁ガラスの内約20枚が割傷、一部落下



水生生物保全センター

津波で施設全体が水没、飼育していた生物がほぼ全滅

再オープンまでの道のり

- 3月12日 アクアマリンふくしま3階に避難していた職員80名帰宅
- 16日 海獣類の避難開始
 - 千葉県 鴨川シーワールドへ
 - タイヘイヨウセイウチ・ゴマファザラシ・トド搬出
 - 神奈川県 新江ノ島水族館へゴマファザラシ搬出
 - 東京都 葛西水族園へヘトビリカ、ウミガラス搬出
- 17日 海獣類の避難
 - 静岡県 伊豆三津シーパラダイスへトド搬出
 - 非常用発電機、燃料切れのため停止
 - 行方不明のユーラシアカワウソ展示エリアにて発見
- 20日 震度5強の余震発生
- 23日 東京都 上野動物園へユーラシアカワウソ搬出
- 25日 東京都 葛西水族園へ生物搬出
 - アメリカカブトガニ・オウムガイなど10種34点
- 29日 東京都 井の頭動物公園へオオサンショウウオ搬出
- 4月1日 東北電力からの受電成功、館内照明一部復帰
- 4日 新潟県 マリンピア日本海へ生物搬出
 - チョウザメ類・ネオケラトドゥスなど19種164点
- 4月7日 日本動物園水族館協会より全国の動物園水族館からの救援物資到着
 - 千葉県 鴨川シーワールドで避難中のゴマファザラシ出産
- 11日 震度弱の余震発生
- 12日 震度弱の余震 再び発生
- 15日 駐車場に仮事務所設置 (トレーラーハウス)
- 20日 駐車場に仮設トイレ設置
- 21日 水道一部復帰
- 25日 職員の自宅待機解除 通常出勤へ
- 5月1日 葛西水族園で企画展「かみばね! アクアマリンふくしま」開催
 - 6日 震度5弱の余震発生
 - 11日 水産試験場調査船「いわき丸」引き上げ
 - 18日 大水槽落水
 - 31日 新型活魚トラック納車
- 6月8日 いわき市内の小学校にて移動水族館開催
- 9日 大水槽の破損アクリル交換
- 10日 大水槽の補修完了
- 11日 福島市あずま運動公園にて移動水族館開催
- 12日 北海道よりアマバちゃんなど「オホーツク海」展示生物搬入
- 14日 新潟県 マリンピア日本海よりマルアオメエソ帰館
- 6月16日 「潮日の海」の大水槽、海水注水開始
- 17日 秋篠宮殿下、紀子妃殿下来館
 - 「潮日の海」の大水槽 漏水事故発生
- 18日 館内の時計が動き出す
- 19日 地震で倒れたシーラカンスの標本を元の位置に戻す
- 21日 館内トイレ一部復活
- 22日 静岡県よりサンマ搬入
- 26日 千葉県 鴨川シーワールドよりゴマファザラシ帰館
 - 避難先で生まれた子供も一緒に帰館
- 29日 和歌山県よりムツなど「ふくしまの海」展示生物搬入
- 30日 新潟県 マリンピア日本海よりナメダゴ他帰館
 - 北海道より「オホーツク海」、「親潮水槽」展示生物搬入
- 7月3日 「黒潮水槽」にマイワシ6000尾搬入
 - 5日 「サンゴ礁の海」海水注水開始
 - 7日 東京都 葛西臨海水族園よりカブトガニ他帰館
 - 9日 千葉県 鴨川シーワールドよりセイウチ (2) 帰館
 - 11日 上野動物園よりユーラシアカワウソ (2) 帰館
 - 12日 「黒潮水槽」にキハダ (25) 搬入
 - 新潟県 マリンピア日本海よりシロチョウザメ他帰館

よみがえれ! 私たちの海

2011年7月15日
再オープン!!



BIO BIO かつばの里、蛇の目ビーチに続き 新たな屋外施設がオープン!! わくわく里山・縄文の里

ここでは、人と自然のバランスのとれた環境の中で、日本人がすでに縄文時代から体験していた自然との共生を想像します。海・山・川の循環のあり方や自然環境の保全、自然の持続的な利用、多種多様な生物が暮らす命の営みについて考える機会となるでしょう。

人と自然のバランスのとれた縄文時代の 水環境・アクアスケープづくり

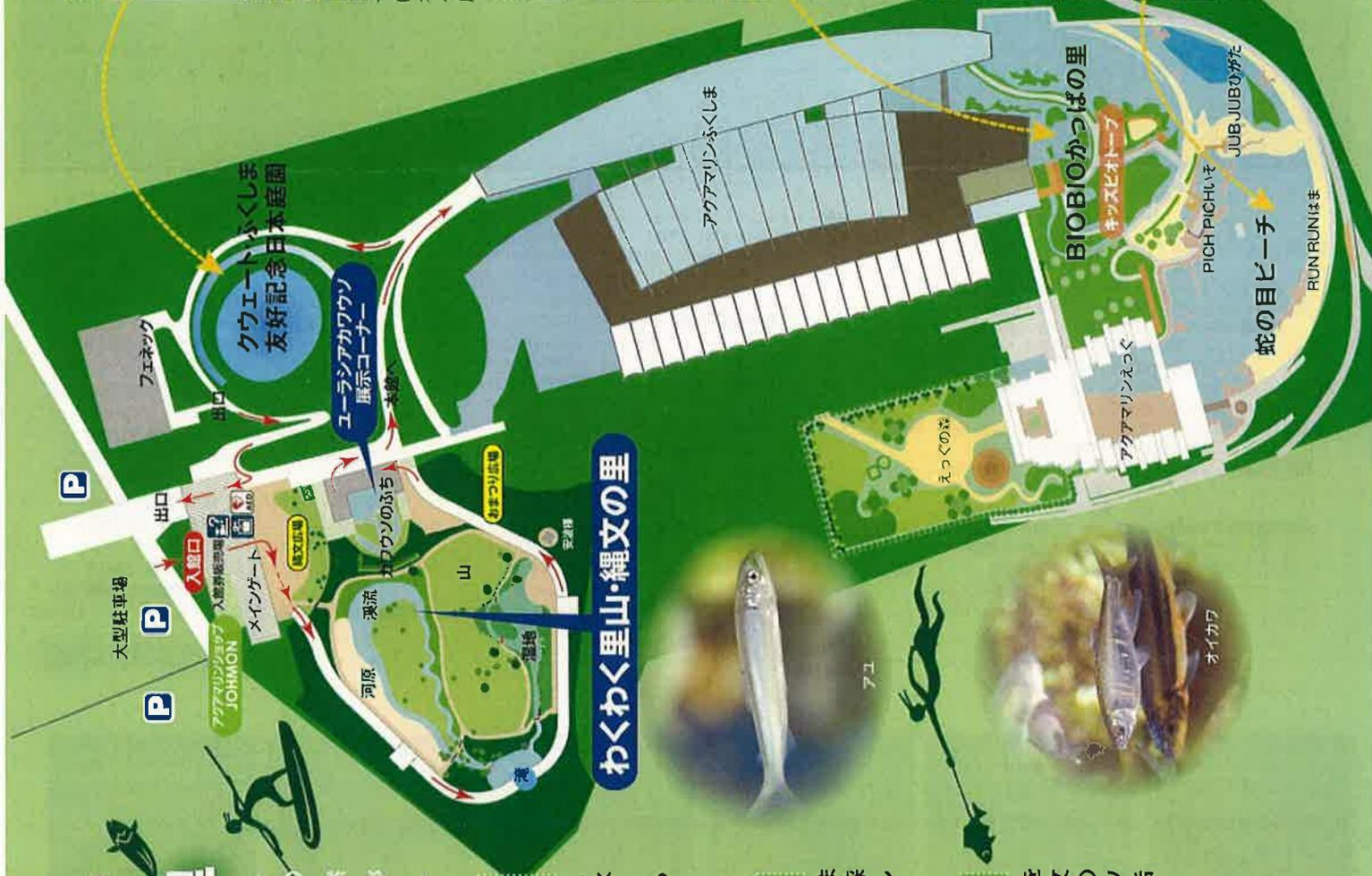
山に降った雨水は、川になって、海へ注ぎます。溪流・滝・小川・河・湿地・干潟・砂浜・磯、これらの水辺の環境は、全てが水を通してつながっています。サケやアユなど、海と陸の水辺を行き来して暮らす生き物もたくさんいます。

狩猟・採集・漁労生活の縄文時代

日本には四季があり、動植物の営みが変わります。縄文時代の人々は四季に合わせて、食料を採集していました。人間も自然に溶け込んで暮らしていました。

約200mの縄文トンネル

トンネルの窓から、縄文時代の豊かな自然環境を想像し、眺めてみましょう。トンネル中央には「縄文の滝」があり、そこから流れ出る溪流、湿地や実のなる木があります。水辺で暮らす、ニホンカワウソは、かつてこのような自然の中でのびのびと生活していたことでしょう。



クウェートふくしま友好記念日本庭園



マダケの骨組みに縄文人の食料といわれるクズを合わせた「クズのトンネル」や、クウェートの砂漠、オアシスの自然を展示する「砂漠は生きている」、クウェートとの友好記念モニュメントなどのテーマ展示からなっています。

BIOBIO かつばの里



かつて私たちの身近にあった小川など昔ながらしい里地の水辺の環境を再現しています。メダカやタナゴが泳ぎ、カエルたちが飛び跳ねます。季節により色とりどりの野草が咲き、四季の移り変わりを楽しむことができます。

蛇の目ビーチ



干潟・砂浜という海辺の自然環境を再現した、はたして遊べる世界最大級のタッチプールです。「蛇の目ビーチ」は「PICH PICH いそ」、「JUB JUB ひがた」、「RUN RUN はま」3つのエリアの総称です。



はじめに

平成23年3月11日14時46分に発生したM9.0震度6弱の大地震、約40分後に津波の第2波が到達し、翌12日には東京電力福島第一原発で水素爆発が発生。放射性物質が飛散し、放射能の影響と風評被害との戦いが始まりました。このような被害状況の中から、4カ月後の平成23年7月15日にアクアマリンふくしまが再オープンすることとなります。



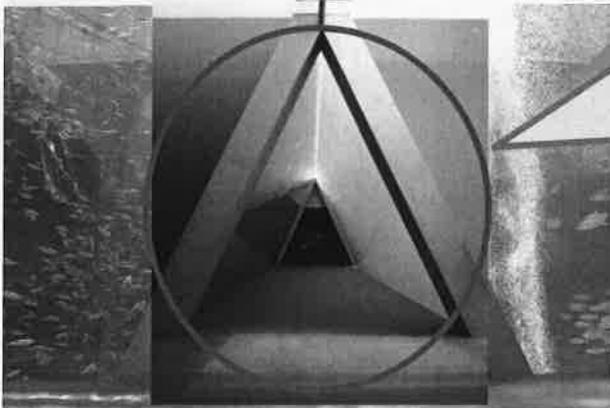
aquamarine
Fukushima

1. アクアマリンふくしま東日本大震災被害



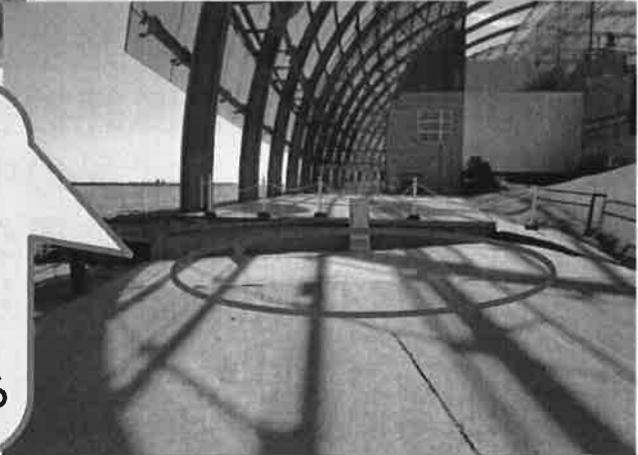
- (1)大地震 3月11日14時46分 M9.0 震度6弱
- (2)津波 3月11日(浸水高)
小名浜漁港区5.42m 第4埠頭 4.28m
- (3)原発事故 3月12日15時36分
福島第一原発1号機原子炉建屋水素爆発
(いわき市から約55kmの距離)

2 アクアマリンふくしまの被害



1. 汚れてしまった大水槽
- ・展示生物の死(魚等の腐敗)
 - ・濾過装置の停止(海水腐敗)
- ※館全体:750種20万点の9割を失う

2. 入口エントランス 1mの段差
- ・手前(沈下した)
⇒地盤沈下
 - ・本館(沈下していない)
⇒本館下には300本以上の杭
※60m下の強固な地盤で支えている

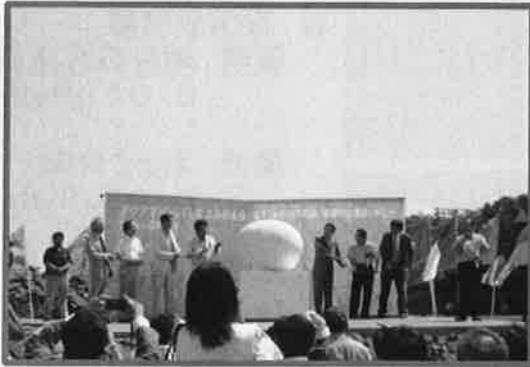


3. 7/15再オープンまでの流れ

- ・3月11日 東日本大震災
- ・3月12日 1号機原子炉水素爆発
- ・3月14日 職員の自宅待機命令
- ・4月1日 東北電力からの受電成功
- ・4月21日 水道の一部復旧
- ・4月25日 自宅待機解除(通常勤務)
7/15再オープン宣言
- ・6月10日 大水槽の修復完了
- ・6月16日 海水注水開始
- ・6月中旬 展示生物の搬入開始



4. 復興 2011.7.15再オープン



早期復興できたポイント

(1)リーダーシップ

- ・ 7月15日再オープンの意思決定
- ・ 復興へ向けての筋道の確立
→やる気にさせたリーダーの決断

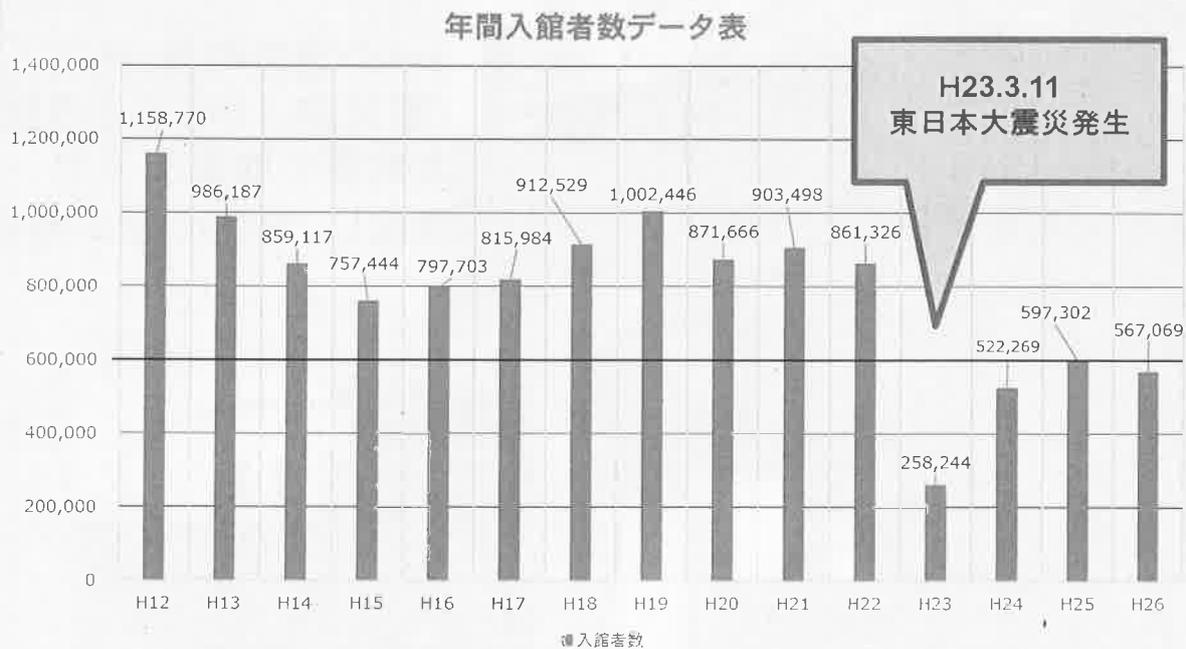
(2)チームワーク

- ・ 復興へ向けての共同作業
- ・ 復興へ向けての意識向上
→連帯感、達成感につながっていく

(3)絆・協力・援助

- ・ 関係業者の努力
→短期間での修復
- ・ 水族館関係者等協力
→専門家、ボランティアの派遣
- ・ お客様からの援助
→食料、水、手紙等

5 震災による影響 入館者数比較(震災前、震災後)



震災前まで年間平均90万人の入館者がいたが、現在は約60万人。(66%)
原因は放射能による風評被害。特に小さなお子様のいるご家族客が著しく減少。

6. 放射線の状況をHP上で公開中

環境放射線
 蛇の目ビーチ
 0.04 μ Sv/h
 えっぐの森
 0.08 μ Sv/h
 測定日10/7

放射線マップ

学校利用ガイド

シーラカンス情報

2013/6/1 アクアマリンうおのそまに「子ども市場」完成
 2013/5/19 ゴマファザラシの子どもの名前が決まりました。
 2012/12/26 アクアマリンうおのそま移転オープン！
 2012/11/10 Facebookのページができました。
 2012/7/12 スマートフォン用のサイトができました。

最新性まもの情報

2013/9/30 繁殖管を受賞したアバチャンを展示しました。
 2013/8/22 キンギアザラシの展示を再開しました。

2013/8/3 アクアマリンえっぐにおもしろ生物展々展示。
 2013/8/3 マダラトビエイを展示しました。
 2013/7/17 レッサーズローロリスの子どもの展示をしました
 2013/6/15 インドネシア共和国でシーラカンスの飼育に成功しました
 2013/6/8 ゴマファザラシ「きぼう」海中水族館へ
 2013/6/3 ユーラシアアカウツの「チロル」が出生しました
 2013/5/14 サンマの展示を再開しました。
 2013/4/30 レッサーズローロリス出産、子育て中 (YouTube)
 2013/4/12 ゴマファザラシの赤ちゃん泳ぎの練習 (YouTube)
 2013/4/11 ゴマファザラシ「くらら」が出生しました

■ 環境放射線

屋内 潮目の大水槽前
 0.04 μ Sv/h

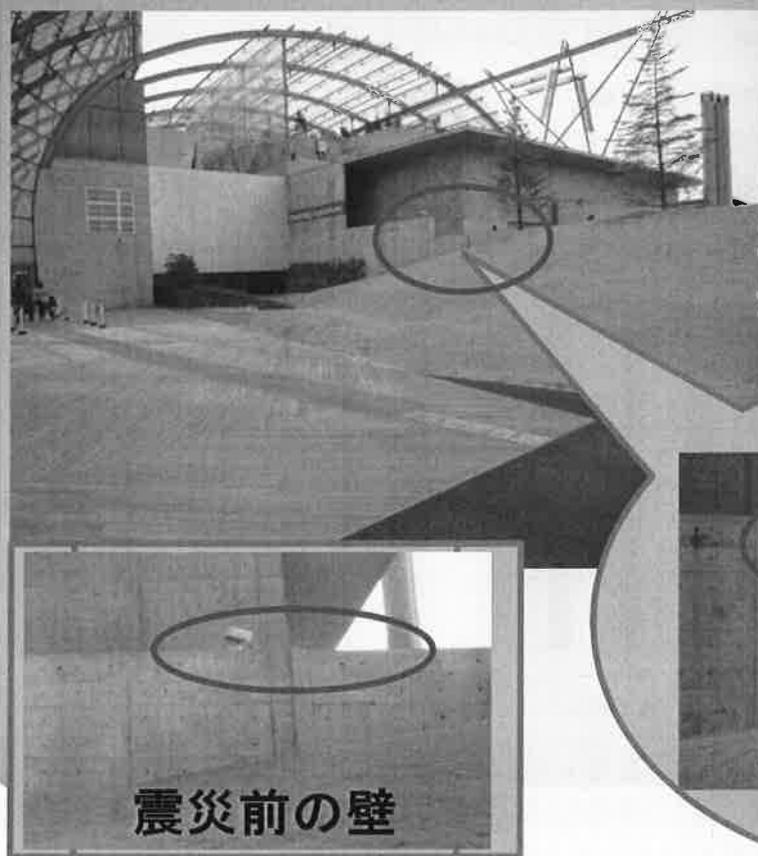
屋外 えっぐの森
 0.08 μ Sv/h

蛇の目ビーチ
 0.04 μ Sv/h

■ 水槽用海水(単位 Bq/L)

Cs134:ND
 Cs137:ND
 I131:ND
 (Cs = セシウム
 I = ヨウ素)
 ND:Not Detected
 (検出されない)

7. エントランスに残る震災の跡



1mの段差の壁:現在
 (震災前は同じ高さの壁)
 大地震で地盤沈下が
 発生し、右側の壁が落ちた。

震災前の壁

現在の壁



採りたて!!
旬な**トマト**は
こちらでどうぞ

いわきサンシャイン彩トマト あかい菜園 直売所

〒福島県いわき市平
赤井字一の町55-1
営業 9:00 ~ 16:00頃
※ 商売がなくなり次第、終了
する場合がございます。

休日曜日

あかい菜園 検査

<http://akai-tomato.jp/>
ネット通販やオースメレシビ、
トマトの生育情報を配信中!

Tel. 0246-68-7906



Access いわき中央より車で約5分



サンシャイントマトが
届くまで

定植 (苗植え) ていしょく (ほえこえ)
毎年7月ごろ、苗の入替を行います。
元気に育つようお願いを込めて、手作業で
1株1株丁寧に植え付けていきます。

灌水・施肥 かんすいせいひ
栽培ステージ、生育状況に応じて配合
した肥料液水に混ぜ、プログラムで決めら
れた量・回数だけ灌水するシステムです。

栽培 さいばい
高設の栽培ベッドを採用し、作業の
効率化を図っています。暖房はヒートポン
プを使用し、省エネ・節電になっています。

収穫 しゅうかく
収穫は毎日朝から。多い日は2トンを超え
るときも。すべて手作業で行い、
キズをつけないよう大切に摘み取ります。

選果 せんか
お客様に届いた時を考えながら、
丁寧にトマトのキズ・出来具合・サイズ
を選別し、箱に詰めていきます。

検査・測定 けんさ・そくてい
残留農薬、放射能定期的検査と日常
での生育調査を実施しています。

出荷 しゅつか
その日に採れたものを、その日のうち
に市場へ出荷します。サンシャイン
トマトとして皆さまの食卓に並びます。



いわきから届けたい
あかい菜園の
感動トマト

About us



代表取締役
船生 典文



スタッフ

わたしたちあかい菜園は、青い海と空が広がる福島県いわき市で、平成27年からトマトの生産を開始しました。基本方針は、お客様に感動を与えられるトマトを作ること。安心、安全はもちろんなこと、わたしたちの作ったトマトは、皆さんの食卓をさらに楽しくさせる、そんなトマトを作りたいと、スタッフ一同、情熱をもって日々取り組んでいます。管理された栽培施設は、環境管理を自動化し省力化、その分、トマトの栽培管理に集中して作業ができるため、高品質なトマトを生産できます。赤い大玉トマトのほか、多彩なカラーのトマトや新食感のミニトマトを栽培しております。いつも明るくスタッフたちが、心を込めて丁寧に、こだわりを持って育てた自慢のトマトをご賞味ください。



あかい菜園 株式会社

〒979-3131 福島県いわき市平赤井字日渡 104-2
TEL / 0246-68-6969 FAX / 0246-68-6904
代表取締役 / 船生 典文
事業内容 / ◆農産物の生産、販売業務 ◆農産物の加工、販売業務
◆農産物の生産、加工、販売に関する分析、開発、コンサルティング業務
【一の町学園】〒979-3131 福島県いわき市平赤井字一の町 55-1

いろいろあります あかい菜園の彩トマト

- 【大玉トマト(赤)】
・株太郎
・みずら
・りんか
白みと酸味のバランスのとれた、まろやかな味の特産の大玉トマトです。
- 【加熟用トマト】
・ガンマルツァー/リゼルト
・シシリアン/レージュ
・ロツナポリタン
生食でもおいしいですが、加熱調理するときに苦みを感じるといった特徴があります。
- 【中玉トマト】
・フルティカ
・ゼいたくトマト
フルティカは味のトマト、フルーティックな味わい、ゼいたくはフルーティックな味わい、どちらも大玉トマトにくらべて甘みがあります。
- 【大玉トマト(黄)】
・株太郎ゴールド
株太郎ゴールドは通常の株太郎よりも、酸味の濃味が少なく、糖度の高さが特徴です。
- 【ミニトマト(オレンジ)】
・オレンジ千果(赤)
・ピッコロカナリア
・オレンジキャロル
オレンジ色のミニトマト、白みが強く、皮がロゼンが入っています。
- 【ミニトマト(黄色)】
・イエローキャロル
・イエロームミ
鮮やかな黄色のミニトマトです。原やかな風味とほのかな甘みがあります。
- 【ミニトマト(赤)】
・千果(赤)
・ラブリッス
・ルージュポルドー
・新食感トマト
千果は、ドライトマトやマリネなどに最適です。
- 【ミニトマト(紫)】
・バイオレット
濃い紫色のミニトマトで、アンリシアニンが豊富に含まれています。
- 【ミニトマト(緑)】
・グリーンチェリー
・ミドリちゃん
完熟しても緑色のが特徴で、味もおいしい、珍しいミニトマトです。

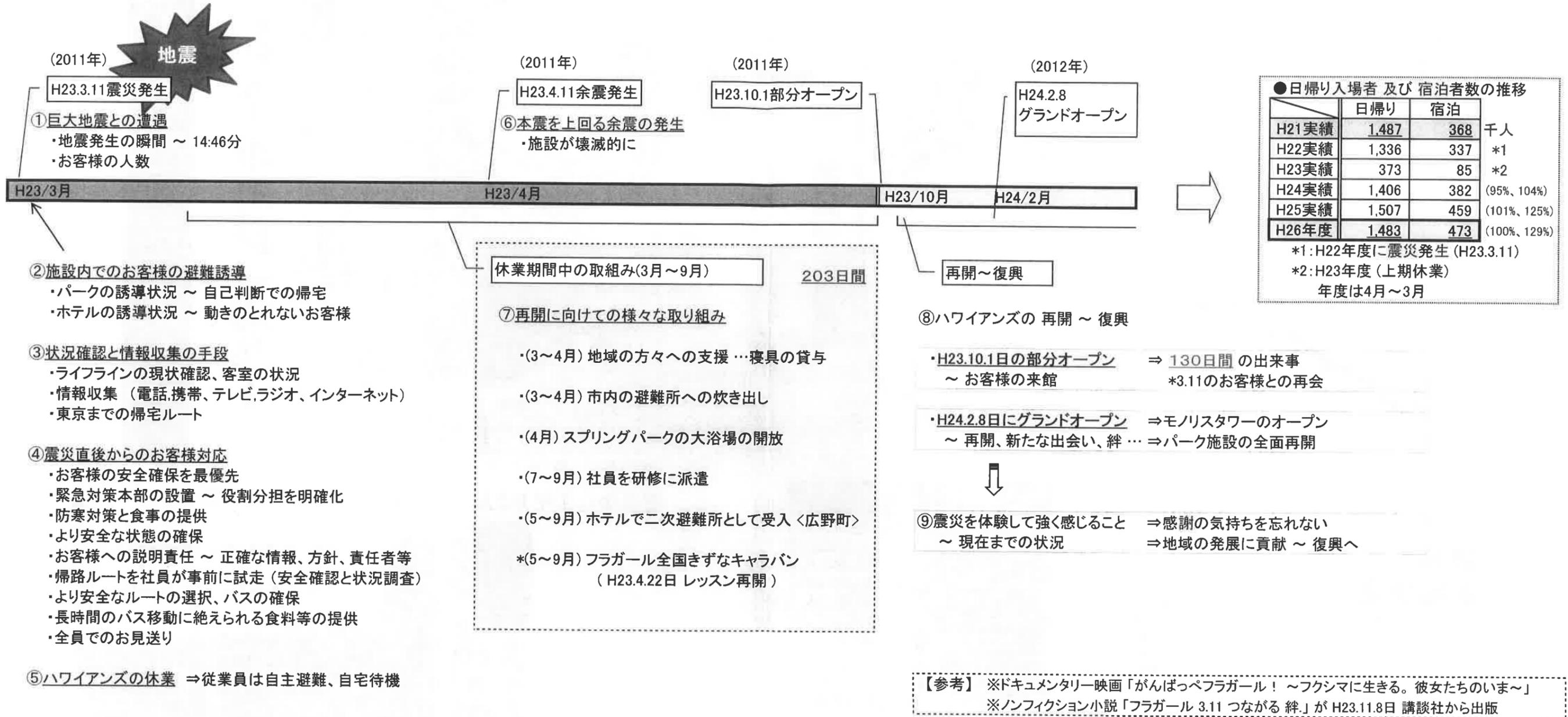
おすすめ! あかい菜園のギフト

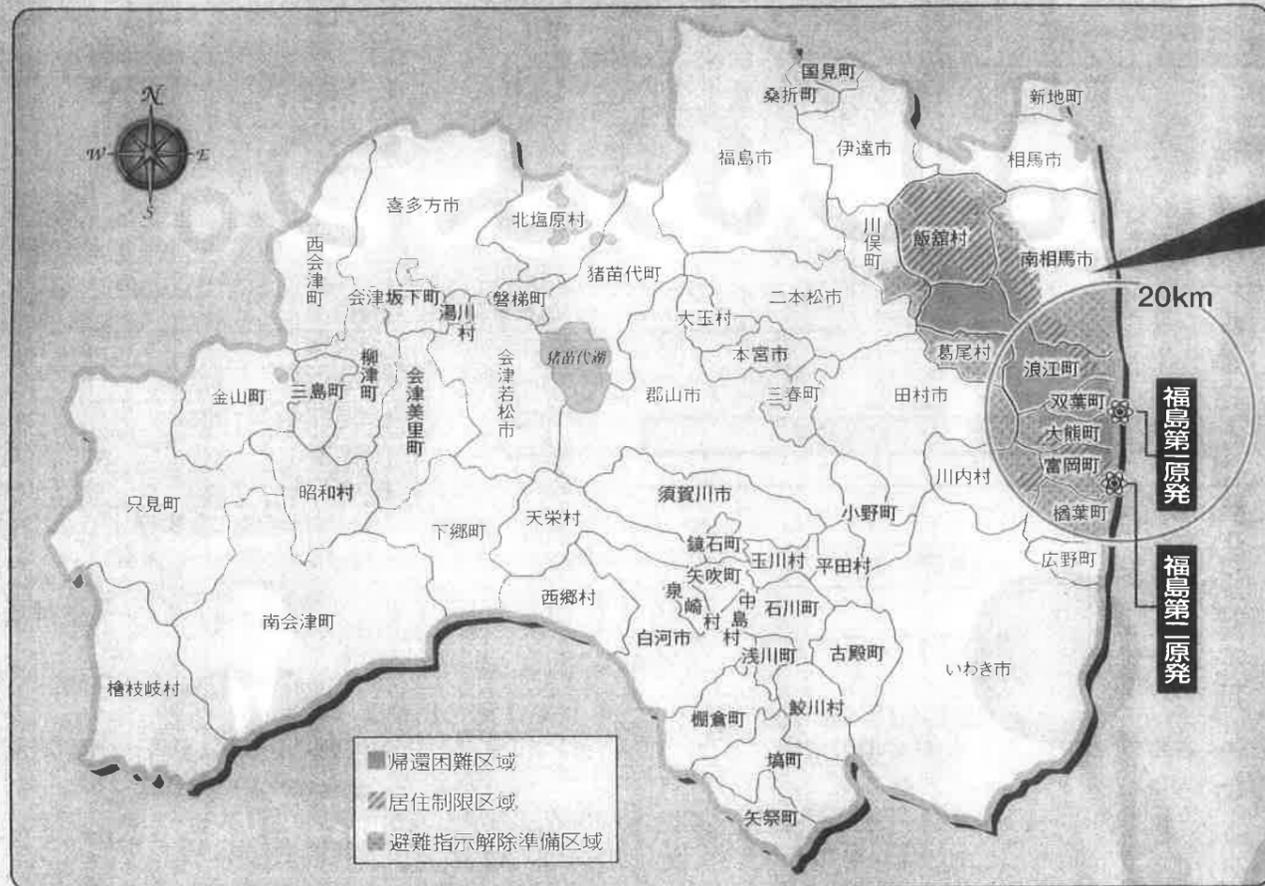


- オースト**
いろどり
彩トマトの詰合せ(小)
手ごろな食べ盛りサイズです。ご自宅用に、または手土産としても喜ばれます。
- 人気 No.1**
いろどり
彩トマトの詰合せ(大)
肩で、食べて、もらってうれしい詰合せ! たっぷり食べれるパーティーサイズです。
- イチョシ**
大玉トマト(桃太郎)の詰合せ(大)
そのままでも召喚ん、ソーやジュース、バスタやピザにも心置きなくトマト料理が楽しめます!

※ご注文は直売所、ホームページより承っております。

「ハワイアンの3.11」対応～再開～現状の想い





区域再編

十市町村で避難区域のシフト整備を進め、住(同20%)を超え50%に再編を終えた。残る川俣町の早期帰還を目指す(同20%)、少なくとも「警戒区域」(計画的に再編予定で、全ての年間20%以下)、しい「帰還困難」(同避難区域)が設定され再編が完了する。住民の帰宅や通過交通(50%)の三区画に「居住制限」を認める「居住制限」に分けられた。

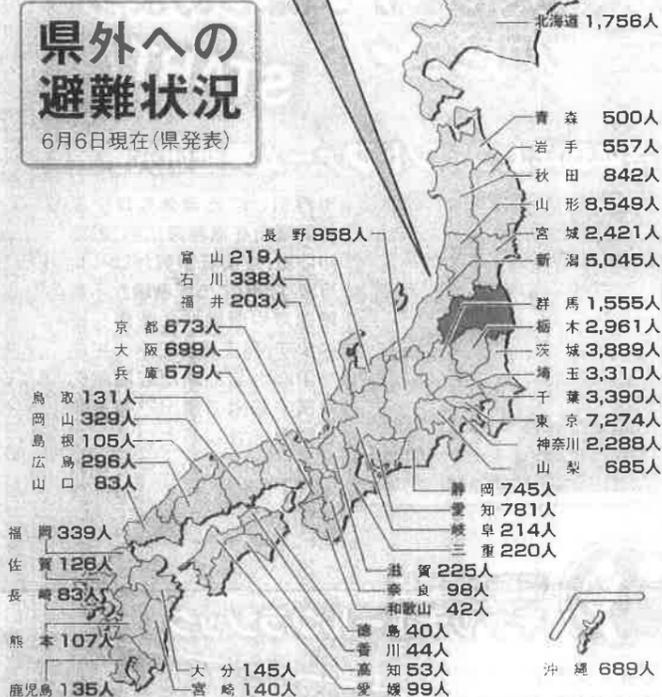
あの日から2年5ヵ月

川俣町山木屋に 全市町村で完了

震災から4年6ヶ月(2015年9月9日:福島民報新聞)

県外への避難状況

6月6日現在(県発表)



県内避難者

借り上げ住宅	5万6295人
仮設住宅	3万594人
公営住宅	1323人
雇用促進住宅	4420人
親戚・知人宅	3221人

(7月4日現在)

避難者徐々に減

人口動態、震災前の状況に

避難者数

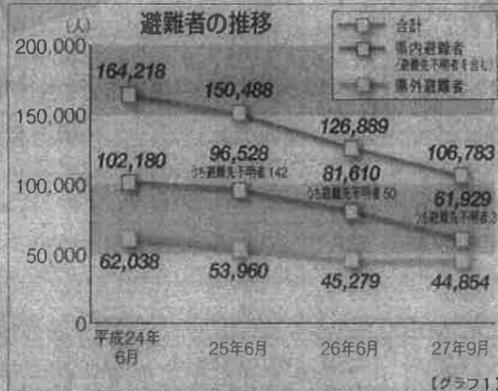
東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に伴う本県の避難者は、十六万人を超えていたが、県の最新の手続きでは十四万九千九百四十九人と、十五万人を切った。内訳は県内避難者が九万五千八百五十三人(七月四日現在)、県外避難者が五万三千九百六十八人(六月六日現在)、避難先不明者が百三十六人。県外避難者は昨年秋から減少傾向が続いている。県は、時間の経過に伴う空間放射線量の減少に加え、公共施設などの除染が進んでいることが帰還につながっていることとみている。

18歳未満の避難者減少

震災と原発事故に伴う避難者(八月十三日現在)、一の通り。避難者が最も多かったのは平成十四年八月(約二十万人)で、避難先不明は三十一人で計二十万七千八百八十三人と推定されている。避難先不明は三十一人で計二十万七千八百八十三人と推定されている。避難先不明は三十一人で計二十万七千八百八十三人と推定されている。

※避難者: 県内+県外 ⇒ 約10万7千人

※子ども: 18歳未満 ⇒ 約2万3千5百人



都道府県別
 県外の避難先として最も多いのは山形県で八千五百四十九人となっている。次いで東京都七千二百七十四人、新潟県五千四百五十八人、茨城県三千八百八十九人、千葉県三千三百九十人と続いている。